製品カタログ

ファイバー測定 / 監視ツール

VIAVI Solutions

課題

トリプルプレイなどの広帯域サービスの高品質化に伴う、トラフィック増加への対応は近年の課題であり、大変なチャレンジです。光ファイバーをアクセスネットワークのエッジまで、ときには加入者の宅内にまで敷設することは、サービスプロバイダーにとって重要な戦略要素です。その利点は、インフラの光ファイバー化によって実質的に帯域幅が無制限になる可能性があるうえ、システムの運用と運営、プロビジョニングの管理を強化、促進できることにあります。

光ファイバーネットワークの導入 / 立ち上げ / 保守は、快適なユーザー体感を保証するというサービスプロバイダーのミッションにおいて非常に重要です。ネットワークライフサイクルのどの段階においても、光伝送の完全性と効率を確保するための品質管理と予防対策が必要です。

VIAVI は、ポータブル光ファイバーテスト測定器および監視システムソリューションを広範囲に取り揃えることで、導入、プロビジョニングから保守、サービス保証まで、ネットワークのライフサイクル全体に渡ってフィールドテストで求められるニーズに対応しています。単体試験機から拡張性の高いテストプラットフォームまで、つねにエンジニアに適切なツールを提供し、迅速で適切な作業をサポートします。

目次

ファイバー端面検査とクリーニング 4
FiberChek™ Probe マイクロスコープ 5
FiberChek Sidewinder™ 6
P5000i ファイバーマイクロスコープ 7

ビジュアルフォルトロケータ（VFL）とファイバー ID 8
FFL-050/-100 ビジュアルフォルトロケータ 8
FI-60 光活線識別機 9

ハンドヘルド光測定器 10
MP-60/-80 超小型 USB 2.0 パワーメーター 10
SmartPocket™ OLP-34/-35/-38 光パワーメーター 11
SmartPocket™ OLP-37 RFoG & PON および OLP-37X G-PON & XGS-PON パワーメーター 12
SmartPocket™ OLS-34/-35/-36/-37/-38 光源 13
SmartClass（スマートクラス）OLA-55 光レベル減衰器 14
SmartClass ファイバー OLP-82/82P 14
SmartClass ファイバー OLP-85 光パワーメーター 15
SmartClass ファイバー OLS-85 ハンドヘルド光源 15

ハンドヘルド光テストキット 16
SmartPocket™ OMK-34/-35/-36/-38 光テストキット 16
SmartClass Fiber OLTS-85/85P 光損失テストセット 17
SmartClass Fiber MPOLx - MPO 光損失テストセット 18

FTTx/PON 光パワーメーター 19
SmartClass ファイバー OLP-87 PON パワーメーター 20
SmartClass ファイバー OLP-88 TruePON テスター 21
Network and Service Companion (NSC-100) 22

OTDR 23
スマートリンクマッパー（SLM） 23
SmartOTDR™ ハンドヘルドファイバーテスタ 24
MTS-2000 ハンドヘルドモジュラーテストセット 25
MTS-4000 V2 光テストプラットフォーム 26-27
MTS-2000、-4000 V2、-5800 V2 プラットフォーム用 4100 シリーズ OTDR モジュール 28
MTS-2000、-4000 V2、-5800 V2 プラットフォーム用 4100 シリーズ - FiberComplete Loss、ORL、OTDR 統合モジュール 29
MTS-2000、-4000 V2、-5800 V2 プラットフォーム用 4100 シリーズ - CWDM OTDR モジュール 30
MTS-2000、-4000 V2、-5800 V2 プラットフォーム用 4100 シリーズ - DWDM OTDR モジュール 31
MTS-4000 V2 プラットフォーム用マルチファイバー MPO スイッチモジュール 32
MTS-6000A V2 コンパクトネットワークテストプラットフォーム 33
MTS-8000 スケーラブルマルチテストプラットフォーム 34
MTS-6000 A V2、-8000 プラットフォーム用 8100 シリーズ OTDR モジュール 35
MTS/6000A V2、-8000 プラットフォーム用 8100 シリーズ - FiberComplete Loss、ORL、OTDR 統合モジュール 36

分布型光ファイバーセンシング OTDR 38

光分散解析 40
光分散測定（ODM）モジュール 40
分散テスト用の広帯域光源 41
簡単な 1 ボタン測定 41

光スペクトラム解析 42
MTS-2000、-4000 V2、および -5800 V2 プラットフォーム用 COSA-4055 CWDM 光スペクトラムアナライザーモジュール 42
MTS-2000、-4000 V2、-5800 V2 プラットフォーム用 DWDM 光チャンネルチェッカーモジュール (OCC-4056C) 43
OSA-110M/110H/110R フルバンド光スペクトラムアナライザーモジュール 44
OSA-500M/500R/500RS 高性能フルバンド OSA 45
OSA モジュール：MTS-6000A V2、-8000 プラットフォーム用高分解能 OSA-610 46
OSA モジュール：MTS-8000 プラットフォーム用インサービス Pol-Mux OSCA-710 47
SmartClass（スマートクラス）OCC-55/-56C 光チャンネルチェッカー 48

解析後のオフライン PC ソフトウェア 49

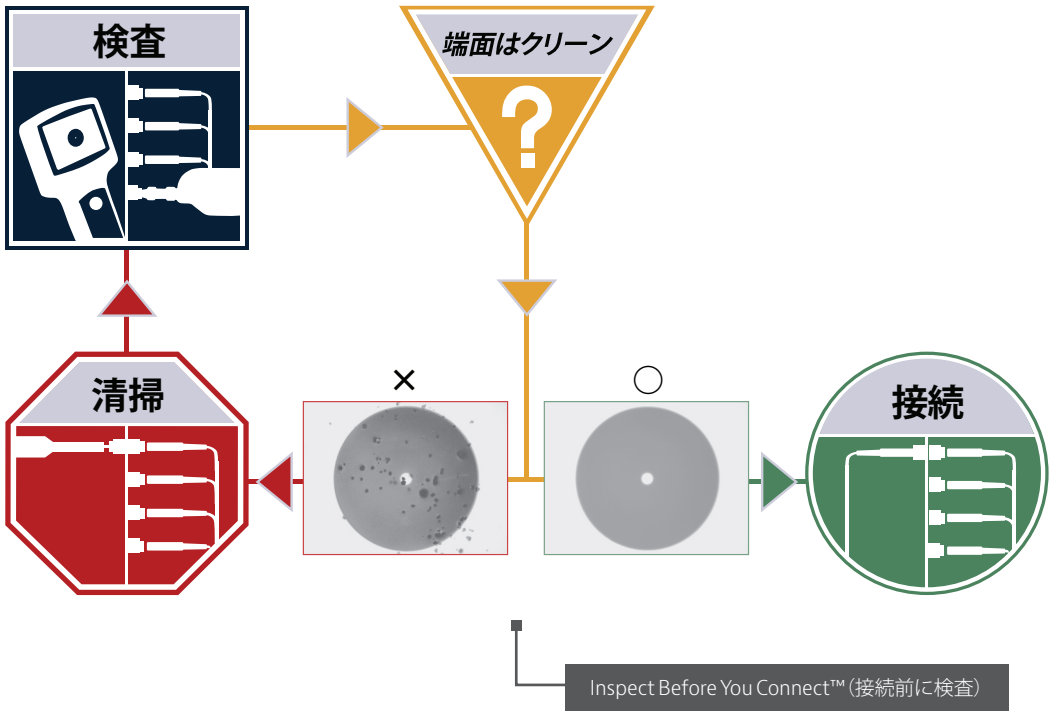
資産、データ、およびワークフローの管理 50
StrataSync 50
CERTiFi 51

光ネットワーク管理 52
SmartOTU™ 52
光ネットワーク管理システム (ONMSi) 53

データセンター インターコネクト アップタイムの改善 54

ファイバー端面検査とクリーニング

ファイバー端面の汚れは光ネットワーク障害の主な原因の一つです。一片のほこりが問題を常態化し、ネットワーク障害の原因になる可能性があります。端面の画像検査は、光ファイバーコネクターを接続する前にクリーニングの必要性を判断する唯一の手段です。



VIAVI は、ネットワーク内の各ファイバーコネクターとアプリケーションを検査するための包括的な製品群を用意しています。「Inspect Before You Connect（接続前に検査）」（IBYC）を厳守することで、接続前のプロアクティブな検査が一貫して行われるようになります。これにより、汚れや傷があるファイバーがネットワークに入り込むことがなくなり、ネットワーク性能を最適化できます。

詳細については、www.viavisolutions.com/inspect をご覧ください

FiberChek™ Probe マイクロスコープ

全てのエンジニアに必須の端面検査器

FiberChek Probe は、ファイバー検査において業界をリードする専門知識に基づく、あらゆるスキルレベルのエンジニア向けの一体型ハンドヘルドマイクロスコープです。画像表示、オートフォーカス、合否判定、結果の保存と呼び出し機能によりファイバー検査要件をすべて満たすことができるFiberChek Probeは、検査ワークフローを完全に自動化して迅速かつ正確な性能を保証します。単体でも他の装置（WiFi または USB 経由）と接続して使用もでき、FiberChek Probe は、すべてのエンジニアに必須のファイバーツールです。

主な特徴

- 内蔵タッチスクリーンにファイバー端面を表示
- オートセンタリング
- オートフォーカス
- ビルトインファイバー端面検査機能
- ユーザー設定可能な合否判定プロファイル
- デバイスに結果を保存またはエクスポート
- WiFi、Bluetooth および USB 接続

主な利点

- 一体型ソリューションで完全に自律な検査を実現
- 検査ワークフローの自動化
- 正確で迅速なテストパフォーマンスを実現
- どこでも容易にアクセスできる接続
- 他の VIAVI 装置やモバイルデバイスと接続

Download on the App Store

ANDROID APP ON Google play

FiberChekMOBILE™

iOS と Android デバイス用ともに FiberChekMOBILE は無料でダウンロードでき、VIAVI 検査ソリューションと統合することでさらに多くの機能を利用できるようになります。

- 検査結果の管理と呼び出し
- モバイルデバイスからのコントロールと端面画像の確認
- プローブマイクロスコープから FiberChekMOBILE への検査結果のエクスポート
- 検査レポートの作成
- メールまたはクラウドストレージを介した検査結果およびレポートの共有
- テスト実施場所の GPS タグ付け
- キーボードまたは音声テキスト変換によるテスト情報の入力

FiberChek Sidewinder™

FiberChek ファミリーの最新製品である Sidewinder は、MPO などマルチファイバーコネクター専用の、業界初の「一体型」ハンドヘルド（携帯）検査解析マイクロスコープです。この完全自動マイクロスコープは、検査効率を最大 90% まで改善し、処理能力を大幅に向上させて、これまでの数分の一の時間で作業を完了できるようになります。

主な特徴

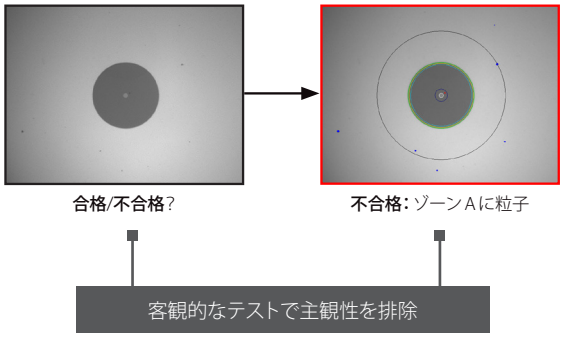
- タッチスクリーン搭載
- ライブ端面映像表示
- オートセンタリング
- オートフォーカス
- オートパン / スクロール
- ビルトインファイバー端面検査機能
- 合否結果を音で通知
- ユーザー設定可能な合否判定プロファイル
- デバイスに結果を保存またはエクスポート
- PC やモバイルデバイスとの WiFi/USB 接続
- 丸一日使える大容量バッテリー
- 業界標準規格（IEC-61300–3–35）準拠の合否判定基準対応

主な利点

- スタンドアローンでの多芯ファイバー端面検査
- 検査ワークフローを自動化
- 端面品質を顧客要件に合わせて検定
- ボタンを 1 つ押すだけで MPO コネクターを迅速かつ正確に自動で検査
- 持ち運びが容易で、どこでも簡単に使用可能
- 様々なファイバーコネクターに対応

P5000i ファイバーマイクロスコープ

P5000iを使用すると、ネットワーク上のファイバー接続がすべてクリーンであることを迅速かつ簡単に検査できます。インテリジェントなマイクロスコープによって端面検査における主観性がなくなり、ファイバーに対して客観的で信頼できる合否判定が得られます。P5000i ファイバーマイクロスコープは、他の VIAVI テストソリューションと組み合わせることもできます。



アプリケーション

- 標準準拠の物理レイヤー性能と適合性確認
- ファイバー端面画像のキャプチャと解析、評価
- 端面検査と解析、評価プロセスの統合

主な特徴

- 再現性のある合否判定
- ユーザー設定可能な合否判定基準
- FiberChekPRO ソフトウェアによる PC/ノートパソコンでの解析とレポーティング
- 自動画像センタリングとデュアル倍率切り替え
- 他の VIAVI 装置やモバイルデバイスと接続
- FiberChekMOBILE または WiFi アダプターモジュールを利用した Android™ または iOS モバイルデバイス / タブレットへの接続

特徴と機能	FiberChek プローブ	FiberChek Sidewinder	P5000i Probe	SmartClass Fiber ソリューション
ファイバー端面のデュアル(200/400x)倍率検査	■	■	■	■
標準準拠またはカスタムの自動合否判定	■	■	■	■
オートセンタリング	■	■	■	■
オートフォーカス	■	■		
レポートの自動生成	■	■	■	■
モバイルデバイス対応	■	■	■	■
内蔵ストレージ	■	■		■
自動試験	■	■		
内蔵ディスプレイ	■	■		■
ワイヤレス接続対応	■	■		
MPO 合否解析	1芯 / 1テスト	全芯/1テスト	1芯 / テスト	1芯 / テスト
パッチコード用マイクロスコープ				オプション

ビジュアルフォルトロケータ（VFL）とファイバー ID

FFL-050/-100 ビジュアルフォルトロケータ

ビジュアルフォルトロケータ（VFL）は、ファイバーケーブル上の問題箇所を素早く簡単に見つけるための必須ツールです。ファイバーの損傷箇所がピンポイントで示されるので、エンジニアは効率的に問題を解析、トラブルシュートすることができます。

赤色光源でファイバーの損傷/曲がり部分を特定

アプリケーション

- ファイバーの曲がり、破断、損傷箇所の検出
- End to End 開通試験
- ファイバーのトレーシングと特定

主な特徴

- 人間工学に基づく優れた携帯性
- 可視波長 650nm
- ハイパワーレーザー（1mW）、シングルモード（> 7km）およびマルチモード（> 5km）対応
- 連続点灯または点滅光源
- ユニバーサルコネクターによる簡単接続
- 2.5mm コネクター入力（1.25mm アダプターあり）
- ソフトキャリングケース付属（保護素材使用、ベルト通し付き）

FI-60 光活線識別機

VIAVI FI-60 LFI を使用すると、ユーザーはファイバーを切断したり、ネットワークトラフィックを中断することなく光信号の存在を容易に検知できます。FI-60 LFI にはまた独自仕様の SafeChek™ が搭載されており、これにより高価なヘッドを付け替える必要なく、ほとんどのファイバータイプで安全で再現性のある測定が可能になります。FI-60　は光パワーメーター（OPM）に切り換えることもでき、作業で持ち運ぶ機材を減らすことができます。

アプリケーション

- ファイバーを接続したまま光信号を検出
- 敷設、サービス、メンテナンス、トラブルシューティング

主な特徴

- 複数のケーブル径対応の LFI ヘッド（250µm～3mmの被覆ファイバー）
- OPM 用の高耐久の金属製入力アダプター（2.5～1.25mm）
- パワーの絶対値（dBm）と相対値（dB）を測定
- 最大 100 までの OPM 読み取り値を保存 / 呼び出し

VIAVI はまた、光信号がシングルモードファイバーを通して伝送されるのを検出することで光ファイバーを識別する F1-10/-11 光ファイバー ID も提供します。

ハンドヘルド光測定器

VIAVI　は世界で最も多様なパワーメーター、リターンロスメーター、光源、ロステストセット、可変減衰器、光チャンネルチェッカーを取り揃えています。VIAVI は 30 年以上もの間ハンドヘルド光測定器のパイオニアであり、利用されている機器は世界中で 15 万点を超え、品質と信頼性、操作性、コストの点で世界的な評価を受けています。

MP-60/-80 超小型 USB 2.0 パワーメーター

PC/ ノートパソコン、スマートフォン、またはタブレットにすぐに接続できるこれらのパワーメーターは、そのサイズ、機能性、使いやすさにより、非常に実用的な光パワーレベル測定ツールです。ソフトウェアのインターフェイスはシンプルで簡単、直感的であり、ファイバー検査およびテスト手順効率化に対する優れたソリューションを提供します。

アプリケーション

- パワーおよび損失測定、780～1625nm の波長範囲の長距離やメトロ、アクセス、ローカルエリアネットワークでの測定
- VIAVI 光源と組み合わせることで変調周波数を検出、個々のファイバーを特定

主な特徴

- 軽量小型設計による優れた携帯性
- dB、mW、dBm で測定
- 自動データログ機能
- 自動波長検出
- VIAVI テスト機器（ONX-580、ONX-620 および 630、MTS-2000/4000V2、CellAdvisor、DSAM、SmartOTDR）、PC、モバイル機器との接続が容易

SmartPocket™ OLP-34/-35/-38 光パワーメーター

これらのポケットサイズの光パワーメーターと光源は大型ディスプレイとわかりやすいユーザーインターフェイスにより、シングルモードおよびマルチモードの光ファイバーネットワークの導入とメンテナンスに最適です。

SmartPocket　光パワーメーター　OLP-34/-35/-38　は、コストパフォーマンスに優れた、フィールドで使いやすい頑丈なポケットサイズ筐体です。主として宅内や電話会社、またはCATVの光ファイバーネットワークでの光パワーレベル（dBm）の測定に使用されますが、LED（OLS-34/-36）またはレーザー光源（OLS-35/-36）との組み合わせで挿入損失を測定することもできます。

アプリケーション

- OLP-34 は LAN/WAN アクセスおよびエンタープライズのマルチモードまたはシングルモードアプリケーション専用です。
- OLP-35 は標準的なシングルモードの通信網のすべてに対応しています。
- OLP-38 は、CATV（アナログ RF 伝送なし）または増幅 DWDM システムアプリケーション用の高パワー（+26 dBm）バージョンです

主な特徴

- 超長寿命バッテリー（>200 時間）
- ユニバーサル光インターフェイスによりすべての 2.5mm/1.25mm コネクターに対応
- 波長を 1nm 刻みで個別設定可能
- マイクロ USB インターフェイスによる電源供給とデータ転送

SmartPocket™ OLP-37 RFoG & PON および OLP-37X G-PON & XGS-PON パワーメーター

VIAVI SmartPocket OLP-37 はカスタマイズされた光パワーメーターであり、PON や RFoG（Radio Frequency over Glass network）のアクティベーション、メンテナンス、およびトラブルシューティング時の測定に利用できます。ITU-T　G.983/4 や IEEE 802.3ah の定義に従って B-PON や E-PON、G-PON のテストを行います。また SCTE 174 2010 の定義に従って RFoG システムのテストを行う際に、波長を選択して光パワーを測定できます。

SmartPocket　OLP-37 は光パワーメーターであり、パッシブ光ネットワーク（PON）のアクティベーション、メンテナンス、およびトラブルシューティング時の測定に利用できます。ITU-T　G.983/4　の定義に従って　B-PON　や　E-PON、または G-PON ネットワークのテストを行う際に、あるいは ITU-T G.9807.1 の定義に従って IEEE 802.3ah および XGS-PON ネットワークのテストを行う際に、波長を選択して光パワーを測定できます。

アプリケーション

- オールインワンのユニバーサル RFoG および PON パワーメーター（OLP-37 RFoG & PON）
- 1490nm での B-PON、E-PON、G-PON 下り テスト
- 1550nm 下りと 1610nm リターンパスでの RFoG/ ビデオのテスト

主な特徴

- 波長選択式 PON および RFoG パワーメーター
- 波長選択式 G-PON および XGS-PON パワーメーター（OLP-37X）
- 1490nm での B-PON、E-PON、G-PON 下り回線のテスト（OLP-37X）
- XGS-PON を 1550nm 下り回線および 1577nm でテスト（OLP-37X）
- G-PON および XGS-PON 信号の同時存在を示す（OLP-37X）
- 100 件のテスト結果を記憶可能な内部メモリ
- 交換可能 FC/APC と SC/APC 光アダプター
- マイクロ USB インターフェイスによるデータ転送
- Smart Reporter PC ソフトウェアによるデータ管理とレポート作成
- 乾電池と充電式電池の両方に対応

SmartPocket™ OLS-34/-35/-36/-37/-38 光源

SmartPocket 光源 OLS-35 および -36 は、マルチモードデータコムとローカルエリアネットワークおよびシングルモードテレコム、CATV マルチメディアネットワークにおいて挿入損失測定と継続性テストを行うための OLP-3x に最適な補完ツールです。

アプリケーション

- OLS-34 は LAN/WAN アクセスおよび 850/1300nm のエンタープライズマルチモードネットワーク専用です。
- OLS-35 は 1310/1550nm の標準的なシングルモード通信網のすべてに対応できます。
- OLS-36 はクアッド波長ソリューションであり、1 台でマルチモードとシングルモード波長の両方に対応できます（850/1300/1310/1550nm）。
- OLS-37 は、1310/1550nm/1490nm を 1 ポートでサポートする、FTTH/PON ネットワーク用の 3 波長シングルモード光源です
- OLS-38 は、1310/1550nm/1625nm を 1 ポートでサポートする、3 波長のシングルモード光源です

主な特徴

- コスト効率が良く、高耐久性でコンパクト
- 光アダプタータイプの切替可能な柔軟性
- オート λおよび TwinTest 伝送モード
- 3 年に 1 度の校正
- 1 台の測定器で 4 波長までサポート（SM+MM）
- マイクロ USB インターフェイスによる電源供給
- 2 または 3 波長用に 1 つの出力ポート（モデルによって異なる）

SmartClass（スマートクラス）OLA-55 光レベル減衰器

高性能 SmartClass（スマートクラス）ハンドヘルド光測定器ファミリーは、コンパクト設計に快適な操作性と高機能を持たせており、光ファイバーネットワーク上のあらゆるフィールド アプリケーションに対応できるように光パワーメーター、光源、光減衰器、ロステストセッ ト、リターンロスメーター、チャンネルチェッカー、チューナブルレーザー光源、およびトー クセットのすべてを提供します。

SmartClass OLA-55 光減衰器はシングルモードファイバーシステムテスト用の可変光減衰器です。

アプリケーション

- システムダイナミクステストの為のファイバー損失エミュレーション
- BER テストとアンプテストの為の回線損失エミュレーション
- マルチモードファイバー（OLA-54）とシングルモードファイバーシステムの導入と保守

主な特徴

- フィールド用途向けの堅牢な耐衝撃 / 防沫設計
- USB ポート経由の遠隔操作
- 減衰の絶対値設定と相対値設定
- NIST/PTB 規格準拠のトレーサブル測定値による確度の信頼性確保
- 400 の調整可能波長
- 長時間バッテリー寿命（>1000 時間）

SmartClass ファイバー OLP-82/82P

SmartClass™ Fiber は、ハンドヘルドテストツールファミリーの 1 つ で、端面検査と光テスト、Tier1 認証が 1 つのデバイスに統合されています。多機能ながら使いやすい SmartClass Fiber は高い柔軟性とパフォーマンスを提供し、エンジニアの誰もが即座にファイバーエキスパートになることができます。

アプリケーション

- 光パワー測定
  （絶対値と相対値）
- 光挿入損失測定
- パッチコードとバルクヘッド両方のファイバー端面検査

主な特徴

- 校正済みマルチ波長（780～1625nm）
- 3.5 インチカラータッチスクリーン
- オプションの P5000i マイクロスコープによる自動合否判定付きファイバー端面検査
- パッチコードマイクロスコープを搭載可能
- 業界標準およびユーザー設定合否判定基準の両方に対応
- ファイバー検査と光テストの結果を記録できる内蔵ストレージ
- レポート機能およびオフラインソフトウェアによるカスタムレポートの作成

SmartClass ファイバー OLP-85 光パワーメーター

OLP-85 高性能光パワーメーターは、光ファイバーネットワークのパワーおよび損失テストアプリケーションに最適な、多機能でコンパクトなプロ仕様の測定器です。OLP-85 は、100dB ダイナミックレンジにわたる高確度により低パワーまたは超高パワーの測定が必要なアプリケーションに最適です。OLP-85 は光パワーメーターと合否判定付きのファイバー検査機能を 1 台のポータブルソリューションに統合しています。

アプリケーション

- 光パワー測定（絶対値と相対値）
- VIAVI 光源 OLS-3x/OLS-8x との組み合わせによる光挿入損失測定
- 光コネクターの端面検査（P5000i　マイクロスコープが必要）

主な特徴

- 800～1700nm の複数校正波長
- 3.5 インチカラータッチスクリーン（スタイラスペン付き）
- パワーおよび損失の合否判定に対する個別のしきい値設定
- USB またはイーサネットインターフェイス経由でのデータ転送とリモートコントロール
- VIAVI　光源と組み合わせたオート波長およびマルチ波長テスト機能
- オプションの P5000i マイクロスコープによる自動合否判定付きファイバー端面検査

SmartClass ファイバー OLS-85 ハンドヘルド光源

SmartClass ファイバー OLS-85 ハンドヘルド光源は、光ファイバーネットワークの適合性評価と認証用の多機能でコンパクトなプロ仕様の測定器です。波長の組み合わせにより、リンク損失テストおよび長距離、メトロ、アクセス、データセンターネットワーク特性評価に最適です。

アプリケーション

- VIAVI 光パワーメーター OLP-3x/OLP-8x との組み合わせによる光挿入損失測定
- 光コネクターの端面検査（P5000i マイクロスコープが必要）

主な特徴

- 3.5 インチカラータッチスクリーン（スタイラスペン付き）
- 1310/1550nm 波長のバッテリー式フィールドポータブル光源
- 交換可能な FC と SC 光アダプター
- VIAVI 光パワーメーターと組み合わせたオート波長とマルチ波長テスト機能

ハンドヘルド光テストキット

SmartPocket™ OMK-34/-35/-36/-38 光テストキット

SmartPocket 光テストキットは、光源（OLS-3x）とパワーメーター（OLP-3x）、その他の付属品で構成されています。

アプリケーション

- OMK-34 は、マルチモードの 2 波長シングルポート LED 光源（OLS-34）と、ユニバーサルプッシュ / プルアダプター（UPP）インターフェイスを持つパワーメーター（OLP-34）で構成されるマルチモード光テストキットです。
- OMK-35 は、シングルモードの 2 波長シングルポートレーザー光源（OLS-35）と、UPP インターフェイスを持つパワーメーター（OLP-35）で構成されるシングルモード光テストキットです。
- OMK-36 は、シングルモードとマルチモードの 2 ポート光源（OLS-36）と、UPP インターフェイスを持つパワーメーター（OLP-35）のクアッド波長光テストキットです。
- OMK-38 は、シングルポートレーザーソース（OLS-35）と UPP インターフェイスを持つパワーメーター（OLP-38）で構成される、特に高パワー CATV ネットワーク用のデュアル波長光テストキットです。

主な特徴

- パワーメーター：超長寿命バッテリー（>200 時間）
- パワーメーター：全 2.5mm/1.25mm コネクター用のユニバーサル光インターフェイス
- パワーメーター：波長を 1nm 単位で個別に設定可能
- 光源：出力ポート 1 つで 2 波長対応
- マイクロ USB インターフェイスによる電源供給とデータ転送

SmartClass Fiber OLTS-85/85P 光損失テストセット

VIAVI SmartClass Fiber OLTS-85/85Pは、ファイバー端面検査機能と Tier 1 テストを統合することで、エンジニアがファイバー試験をスマートに行えるようにします。この効率的で使いやすいソリューションにより、試験時間を半減させながら、精度の高い試験を行えます。1ソリューションでネットワーク品質を保証するワークフローを最適化出来ます。

アプリケーション

- TIA/ISO/IEC 規格準拠の包括的な Tier 1 ファイバー認証試験
- パッチコードとバルクヘッド両方のファイバー端面検査
- 検査レポートの作成

主な特徴

- マルチモード、シングルモード、およびクアッドバージョン
- 3.5 インチカラータッチスクリーン
- 長さおよび光損失（ファイバー 2 本、2 波長同時）測定と極性チェック
- Encircled Flux 準拠
- オプションの P5000i マイクロスコープによる自動合否判定付きファイバー端面検査
- パッチコードマイクロスコープを搭載可能
- FiberChekPRO™ ソフトウェアによるレポート作成

SmartClass Fiber MPOLx - MPO 光損失テストセット

VIAVI SmartClass Fiber MPOLx は、MPO ファイバー接続のTier 1（基本）認証に必要なテストをすべて実行できる業界初の MPO 専用光測定セットです。

MPOLx　により、MPO　ファイバーのテストと認証試験を行うエンジニアの作業時間を大幅に短縮することができます。他の VIAVI Tier 1 ツール同様、光源とパワーメーターの両方からテストの実行と結果の閲覧ができ、ローカル側 / リモート側を問わずコントロールが可能です。全ての機器に 3.5 インチカラータッチスクリーンを装備しており、バルクヘッドとトランクコネクター両方の端面検査にも対応しています。MPOLx はどちら側の機器からも操作可能なため、装置間を行き来する必要はありません。MPO コネクター全 12 芯の包括的なテスト結果が 6 秒以内で得られ、さらに各芯に対して色分けされた合否テスト結果、しきい値、ファイバー長、テスト波長、損失値、マージン、極性結果を表示します。MPOLx は、MPO テストに必要な機能を統合した光源とパワーメーターのセットで、MPO リンクのテストおよび認証試験時に、迅速で信頼性の高い Tier 1 テストワークフローを提供します。

アプリケーション

- MPO ファイバー用の包括的な Tier 1 ファイバー認証試験
- ファイバー端面検査
- 検査レポートの作成

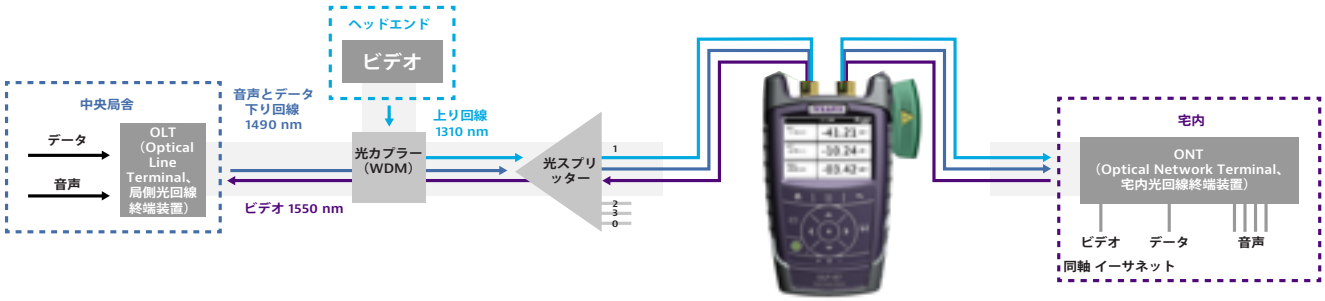
主な特徴

- 長さ測定
- 複数波長での光損失測定
- MPO ファイバー 12 芯すべての極性チェック
- 12 芯 MPO ファイバーのテストを 6 秒以内で実施
- トランクケーブル / バルクヘッド両方の MPO 端面検査と自動解析機能を提供
- 2 波長光源
- Encircled Flux 準拠
- 丸一日使える大容量バッテリー

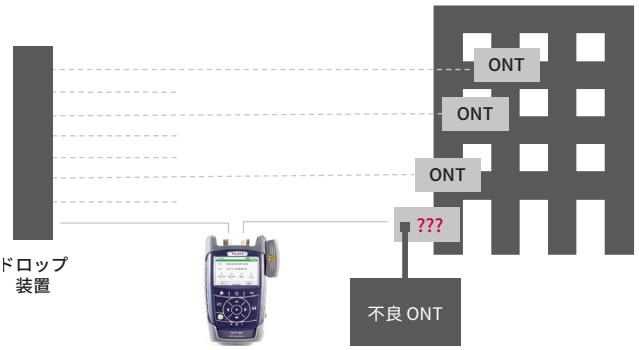
FTTx/PON 光パワーメーター

PON パワーメーターは、FTTx ネットワークのサービスアクティベーションとトラブルシューティング用の測定器です。スルーモード機能は、連続下り回線光（データと RF ビデオ用）とバースト性上り回線光両方の同時測定を可能にします。プリセットの業界標準またはユーザー設定可能な基準により、合否が明確に判定されるため、ネットワークと顧客サイトのファイバー敷設が規格に準拠していることを確認できます。

新世代の PON テスターは、従来型の PON パワーメーター同様に下り回線と上り回線の PON パワーレベルを測定し、ONU/ONTをシリアル番号で識別してローグ/エイリアンONU/ONTの検出も行います。PON-ID がある GPON システムの場合は OLT も識別されます。



更に、新世代の PON テスターは、PON-ID 情報と G-PON データ解析を使用して、ONU/ONT サービスアクティベーション状態を判断し、ONU/ONTがOLTで正しくプロビジョニングされていることをチェックして、ONU/ONT が正しい OLT ポートにルーティングまたは接続されていることを確認できるようにします。他の顧客へのサービスを妨害する可能性のあるローグ / エイリアン ONU/ONT デバイスの有無もチェックします。



SmartClass ファイバー OLP-87 PON パワーメーター

OLP-87 は、B-PON、E-PON、G-PON および高速 10G PON（XG-PON、10G-EPON）に加えて、次世代 NG-PON2 ネットワークのアクティベーションおよびトラブルシューティングのためのFTTx/PONパワーメーターです。OLP-87は高性能波長選択パワーメーターと合否判定付きのファイバー端面検査解析機能を 1 台に統合しています。

アプリケーション

- FTTx/PON ネットワークサービスアクティベーションとトラブルシューティング
- ライブ PON ネットワーク上の、上り回線 / 下り回線信号パワーの同時測定
- 合否判定付きファイバー端面検査

主な特徴

- フィールドポータブルな λ 選択式 PON パワーメーター（スルーモード機能付き）
- 下り回線：1490/1550/1578nm、上り回線：1270/1310nm
- 個別の NG-PON2 下りおよび上り回線のパワーレベル
- PON 出力測定における自動合否判定しきい値の事前設定
- 高性能なブロードバンド パワーメーターオプション
- オプションの P5000i マイクロスコープによる自動合否判定付きファイバー端面検査
- パッチコードマイクロスコープオプション
- 10,000 件までの測定結果を記録
- USB、イーサネット、またはオプションの WiFi 接続でのデータ転送

SmartClass ファイバー OLP-88 TruePON テスター

OLP-88 TruePON テスターは、GPON ネットワークのサービスアクティベーションやトラブルシューティングに最適なツールです。TruePON は GPON データ解析により、光ファイバーケーブルの挿入損失、下り回線と上り回線のパワーレベル、ODN クラスのリアルタイム測定、および OLT-ID ONU/ONT-ID 識別やサー ビス上の問題を引き起こしているローグ ONU 検出を行います。OLP-88 は信頼の高い PON テストとネットワーク問題の迅速なトラブルシューティングを確実に行えるようにします。

アプリケーション

- (deleted)
- OLT と ONT の判別（シリアル番号の抽出）
- (deleted)
- (deleted)
- 合否判定付きファイバー端面検査

主な特徴

- (deleted)
- OLT と ONT の判別（シリアル番号の抽出）
- GPON 信号パワーレベルの自動測定と認証
- ローグ ONU やエイリアンデバイスの検出
- オプションの P5000i マイクロスコープによる自動合否判定付きファイバー端面検査
- パッチコードマイクロスコープオプション
- 10,000 件までの測定結果を記録
- USB、イーサネット、またはオプションの WiFi 接続でのデータ転送

Network and Service Companion (NSC-100)

Network & Service Companion は、初心者かエキスパートかを問わず、すべての最前線作業者および工事事業者にとって、光ネットワーク検証および高速（ギガビット）サービステストをシンプルかつスピーディなプロセスにするために、複数テストインターフェイス（PON、イーサネット、WiFi）をVIAVI 「OneCheck」アプリケーションコンセプトと統合した、新しいカテゴリのコンパクトハンドヘルド機器です。

NSC-100 は、作業者が複数ネットワーク環境およびアプリケーションで作業し、ほんの数分でどのような問題でも素早く明確に分界 / 切り分けして、ネットワーク納入およびサービス性能を容易に文書化できるようにする単一の高性能ツールです。

家庭用ブロードバンドやビジネスサービス、メトロ / エンタープライズイーサネットサービスなどの敷設、アクティベーションおよびトラブルシューティングを行う作業者や請負業者向けの、コンパクトで画面なしの測定器です。ネットワーク納入のベンチマーキング、およびサービス性能と分配の検証を行う一方で、何でもどこでも簡単にテストするベストプラクティスへのコンプライアンスを促進します。

VIAVI StrataSync 対応

アプリケーション

- すべての G-PON、イーサネット、WiFi テストインターフェイス上での真の顧客体験および実物のネットワーク層の検証
- 構内へのサービス納入および構内でのサービス配分のベンチマーキング
- 家庭とビジネスサービス両用の PON/FTTH テスト
- エンタープライズ / データセンター、ビジネスサービス、およびワイヤレスフロントホール (4G & 5G)用の、メトロ / イーサネットテスト

主な特徴

- 何でもどこでも簡単にテスト - PON、イーサネット、WiFi
- PON テストは、ONT エミュレーションと G-PON ID データ解析とにインターフェイス
- イーサネットテストは、最大 10G まで、最大レイヤー 4 (TCP/UDP) までとインターフェイス
- イーサネット L2/L3 ループバックが Y.1564 & RFC-2544 テストをサポート
- ハイエンド WiFi テストインターフェイス - 3x3 WiFi アンテナ（2.4 & 5GHz）
- ベンチマークを必要とするものに対するサービス評価のための複数レベルのギガビットスループットテスト (Ookla Speedtest、TrueSpeed RFC-6349、FTP SpeedCheck)
- すべてのテストインターフェイスを通してサービス速度テストが利用可能
- 直接メールを通してレポートを共有
- モバイルアプリ (iOS & Android)、OneExpert (ONX)、MTS プラットフォームを通して稼働
- StrataSync 対応

OTDR

OTDRは、光ネットワーク特性評価用の光ファイバーテスターです。OTDR の目的は、光ファイバーリンク上のあらゆるイベントを検出、特定、測定することです。OTDR はリンクの一方の側にのみ接続し、1 次元レーダーシステムのような働きをします。被測定ファイバーの OTDR からの距離とその損失をグラフ上にトレースし、光ファイバーリンク全体の損失特性を表示します。

スマートリンクマッパー (SLM)

OTDR は、信頼性の高いサービスを提供するためにファイバーネットワークが最適化されていることを確認するために不可欠なファイバーテストツールです。OTDR の操作性と使い勝手は年々改良されてきていますが、それでも高度な操作を要する測定器と見なされており、測定結果の解釈が難しいことがあります。インテリジェントなスマートリンクマッパー (SLM) アプリケーションにより、エンジニアは OTDR の結果を解釈する必要なく OTDR をより 効果的に使用できるようになります。SmartLink と呼ばれるリンクの全体図が提供され、イベントの1つ1つがアイコンで表示されます。SLM はエキスパートが望むような形式で元の OTDR トレースと関連付けることもできます。

OTDR テストを簡素化し、手順を効率化するためのこの共通アプローチにより、EnterpriseSLM、FTTA-SLM、FTTH-SLM、Cable-SLM といった異なるネットワークにそれぞれ特化した4 つの OTDR アプリケーションが用意されています。

アプリケーション

- エンタープライズ、アクセス、メトロネットワークの敷設と検査
- ワイヤレスバックホールの敷設とメンテナンス
- 長距離 / xWDM ネットワークのリンク特性評価
- ファイバーネットワークのトラブルシューティング

主な特徴

- 複雑な OTDR 結果の解釈が不要
- SmartLink 表示結果と OTDR トレースを直接関連付け
- 測定後、即座に問題診断が可能
- 自動合否判定
- すべてのマルチモード / シングルモード OTDR モジュールに対応
- SmartOTDR および MTS-2000、-4000 V2、-6000A V2、-8000 OTDR プラットフォームに対応
- 現場でのアップグレード可能

SmartOTDR™ ハンドヘルドファイバーテスタ

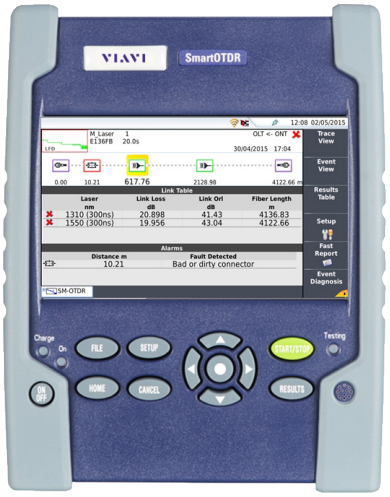
SmartOTDR は、手軽な価格で使いやすい、あらゆるレベルのエンジニア向けの測定器です。生産性を向上する無線接続用オプションも用意されています。OTDR 測定やファイバー端面検査、光損失テスト、ビジュアルフォルトロケータ（VFL）といった基本的なファイバーテスト項目が 1 つの測定器に統合されています。

アプリケーション

- Point to Point アクセスとメトロファイバーネットワークの特性評価
- FTTH/PON ネットワークの適合性評価とトラブルシューティング
- シングルモード FTTA/DAS フロントホールの適合性評価とトラブルシューティング

主な特徴

- 5 インチタッチスクリーンディスプレイ
- 波長 1310nm、1550nm、1625nm または 1650nm の単波長、2 波長、3 波長バージョン
- 1x128 芯光スプリッターを通した PON テスト向けに最適化（B バージョン）
- OTDR ポートと一体型の CW 光源
- ビルトイン光パワーメーターと VFL オプション
- オプションの P5000i マイクロスコープによる自動合否判定付きファイバー端面検査
- Smart Link Mapper（SLM）で簡単にイベント解析



VIAVI StrataSync 対応

MTS-2000 ハンドヘルドモジュラーテストセット

MTS-2000 は、エンタープライズ、メトロ、FTTx/ アクセスの Point to Point または Point to Multi Point ネットワーク（PON）の光ファイバー敷設、メンテナンス用モジュール式ハンドヘルドテストセットです。

MTS-2000は、携帯機1台で非常に広範囲のテスト機能を提供します。モジュール式デザインにより、ネットワークの更新に応じて機能拡張可能です。この測定器は、端面検査、接続試験、光源、パワーメーターといった基本的なファイバー測定ツールをすべてサポートしています。標準的なOTDRモジュールの他、PON用OTDRモジュール、CWDM/DWDM OTDR モジュール、および CWDM 光スペクトラムアナライザーモジュールがあります。

VIAVI StrataSync 対応

アプリケーション

- Point to Point アクセスとメトロファイバーネットワークの特性評価
- FTTH/PON ネットワークの適合性評価とトラブルシューティング
- シングルモードまたはマルチモード FTTA/DAS/C-RAN フロントホールの適合性評価とトラブルシューティング
- LAN/WAN、エンタープライズ、データセンターのマルチモードファイバーリンクの適合性評価とトラブルシューティング
- CWDM と DWDM 波長を持つファイバーリンクの特性評価とトラブルシューティング
- FiberComplete による双方向 IL/ORL および OTDR 試験の完全自動化

主な特徴

- 5 インチタッチスクリーンディスプレイ
- 波長 1310nm、1550nm、1625nm または 1650nm の単波長、2 波長、3 波長バージョン
- デュアルマルチモード（850/1300nm）またはクアッド波長マルチモード / シングルモード（850/1300/1310/1550nm）バージョン
- 1x256 光スプリッターを通した PON テスト向けに最適化
- オプションの P5000i マイクロスコープによる自動合否判定付きファイバー端面検査
- OTDR モジュールは MTS-4000 V2 にも対応
- Smart Link Mapper（SLM）で簡単にイベント解析
- ビルトイン光パワーメーターと VFL オプション

MTS-4000 V2 光テストプラットフォーム

MTS 4000 V2 は、ネットワークの敷設から保守まで、ライフサイクルのあらゆる局面で使用できるハンドヘルドのコンパクトなテストプラットフォームです。メトロ、コア、アク　　ス、FTTH、FTTx、HFC、ワイヤレス、5G、エンタープライズ、データセンターネットワークにご利用いただけます。モジュール式のMTS4000V2は、ネットワークのあらゆる面で最高の性能、優れたスケーラビリティ、アップグレード性を提供します。

VIAVI StrataSync 対応

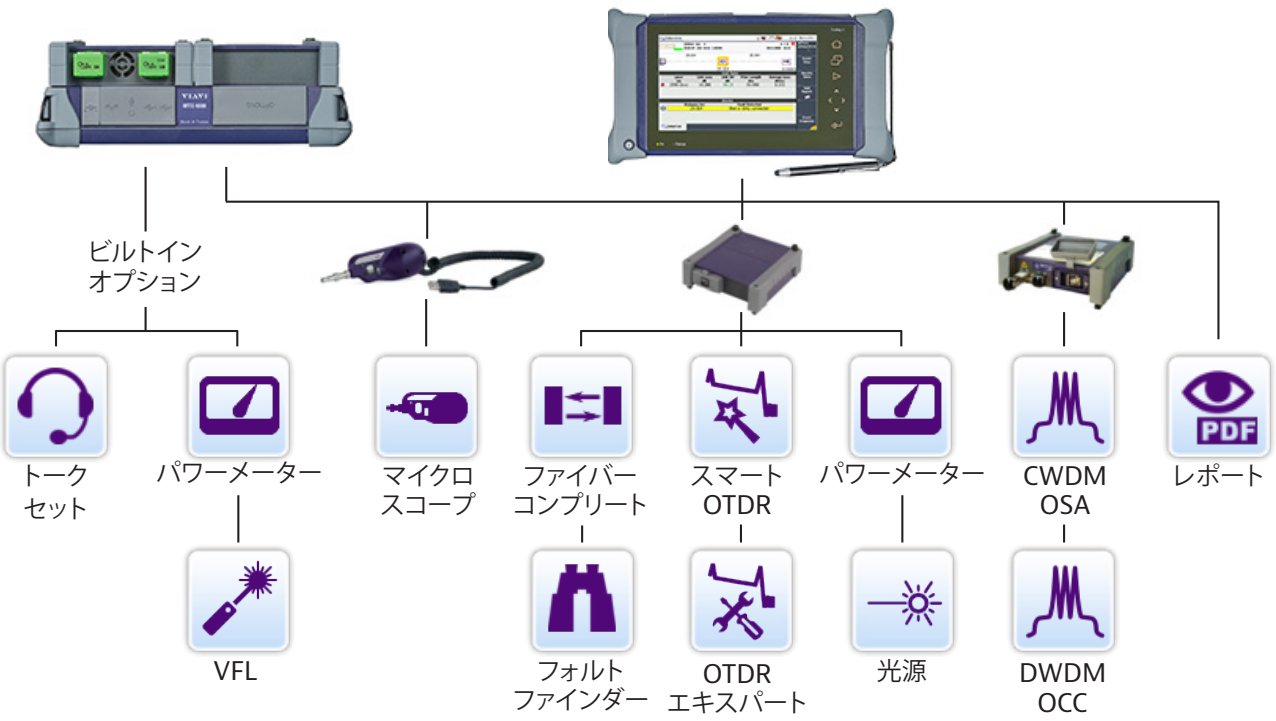
アプリケーション

- ネットワークのライフサイクル全体：構築、アクティベーション、メンテナンス、トラブルシューティング
- 基本ファイバーテスト：OTDR、FiberComplete™（自動双方向 IL/ORL および OTDR）、端面検査（IEC 合否判定）
- FTTH：PON 向けに最適化された OTDR と E-PON、G-PON、XGS-PON、および NG-PON2 ネットワーク用選択式パワーメーター
- ハイブリッド CWDM/DWDM：CWDM または DWDM OTDR と C-OSA テストプラットフォームの組み合わせ
- ワイヤレス：C-RAN、DAS、5G サービス展開向けのシングルモードおよびマルチモードテスト
- エンタープライズおよびデータセンター：多芯ファイバー MPO ケーブルの Tier 2 認証用統合ソリューション
- メトロコア：高速 10G/40G/100G ファイバーリンクの適合性検査用長距離 OTDR

主な特徴

- 軽量プラットフォーム：1.4kg
- 9 インチの高視認性マルチタッチスクリーン、固定ファンクションキー付き
- デュアルモジュールプラットフォーム - モジュールは交換可能
- 基本ツールをプラットフォームに内蔵（ビジュアルフォルトロケータ（VFL）、光パワーメーター、光マイクロスコープ、トークセット）
- Smart Access Anywhere（SAA）による遠隔制御とフィールドテクニカルサポート
- StrataSync 対応 - クラウドによる資産、構成、テストデータ、ワークフロー管理の一元化
- レポート作成 - 単体か PC 上（FiberCable SW）または StrataSync 上で作成可能
- 優れた費用効果（3 年間の保証）、ハンドヘルドのコンパクトなプラットフォーム

MTS-4000 V2 は高度に統合された光テストプラットフォームで、2 つのモジュールベイ、大型 9 インチカラーマルチタッチスクリーンの搭載により、多様な光テスト機能を提供します。OSA、OTDR、双方向挿入損失/ORL、光源、パワーメーター、端面検査を含む広範囲の VIAVI ファイバー分析ツールをサポートしています。



MTS-2000、-4000 V2、-5800 V2 プラットフォーム用 4100 シリーズ OTDR モジュール

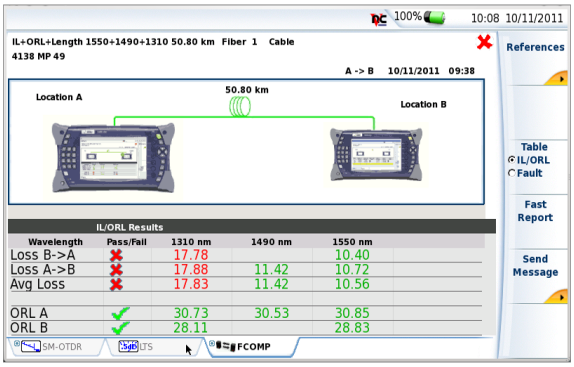
VIAVI 4100 シリーズ OTDR モジュールを使用することでエンタープライズ、メトロ、FTTx/ アクセス、PONをはじめ、どのような光ネットワークアーキテクチャでも迅速かつ確実に、またコスト効率よく導入、ターンアップ、トラブルシューティングを行えます。MTS プラットフォームのテスト機能と統合された OTDR モジュールの光測定性能により、初心者でも正しくテストを行うことができます。

標準テスト機能：

- 自動マクロベンド検出
- 表形式での合否判定付き結果概要
- 双方向 OTDR 解析
- Fast-Report - レポート生成機能

MTS-2000、-4000 V2、-5800 V2 プラットフォーム用 4100 シリーズ - FiberComplete Loss、ORL、OTDR 統合モジュール

これで技術者は、従来のファイバーテスト要件のすべてを 1 台で満たす装置を手にすることができます。FiberComplete は、双方向挿入損失（IL）やリターンロス（ORL）、OTDR など、基本的なファイバー適合性評価テストのすべてを 1 ポートで実行できる唯一のソリューションです。ファイバーを接続してボタンを1回押せば完了です。FiberComplete　は接続・切断回数を減らし、試験自動化やインテリジェントな障害点検出により作業時間を半減させます。作業者へのトレーニングは最小限ですみ、プロセスの完全自動化と見やすいテスト結果で、信頼性の高い測定値が得られます。またテスト結果を　1　つのビューにまとめて、すべての測定値を　1　つのフォルダに保存することでワークフローを最適化します。4100　シリーズの MA3 モジュールをベースとするこの自動ソリューションは光ファイバーネットワークサービス展開時のテスト時間を　50%　短縮するうえ、スプライスとコネクターの特性評価ができ、障害箇所を特定できる唯一のテストセットです。



アプリケーション

- 光ファイバーリンクの認証、メンテナンス、トラブルシューティング
- アクセス、メトロネットワークの敷設とコミッショニング
- FTTH/PON ネットワークの構築および合否テスト
- 1 台で双方向 OTDR、IL、ORL を自動測定
- Troubleshoot in FaultFinder モードによる迅速な結果の表示

主な特徴

- シングルモード、シングルポートテスト
- ワンコネクション、ワンタッチで自動測定
- 約 2 分 40 秒で双方向認証テストを完了（レポート作成を含む）
- リアルタイムの接続チェックと測定器の自動ペアリング
- 測定器間で設定共有
- オンボードレポーティング機能によるテスト結果管理
- リファレンス IL/ORL を取得するためのステップバイステップウィザード
- MA3 モジュールベースで MTS-2000、-4000 V2、-5800 に対応

MTS-2000、-4000 V2、-5800 V2 プラットフォーム用 4100 シリーズ - CWDM OTDR モジュール

VIAVI CWDM OTDR ソリューションを使うと、ケーブルオペレーター、ダークファイバープロバイダー、通信サービスプロバイダーはアクティブC-RAN、DAS、モバイルフロントホール CWDM ネットワークのMUX/DEMUXを介したテスト、完全なエンドツーエンドリンクの特性評価、トラブルシューティングができます。

アプリケーション

- 正確な CWDM 波長によるエンドツーエンドリンクの特性評価
- インサービステスト機能による運用中ネットワークのトラブルシューティング
- 連続波供給機能によるエンドツーエンドの連続性の検証
- ハイブリッド CWDM/DWDM ネットワークの認証とトラブルシューティング（DWDM OTDR モジュールおよび MTS-4000 V2 とペアリングした場合）

主な特徴

- CWDM8U：1471nm～1611nm の 8 波長サポート
- CWDM10U：1431nm～1611nm の 10 波長サポート
- CWDM10L：1271nm～1451nm の 10 波長サポート
- 変調機能付き CW 光源内蔵（OTDR 波長と同じ）
- スマートリンクマッパー（SLM）によりスプライス、コネクター、MUX/DEMUX などをアイコン表示して簡単で迅速な問題解析が可能
- MTS-2000、-4000 V2、-5800 プラットフォームに対応

MTS-2000、-4000 V2、-5800 V2 プラットフォーム用 4100 シリーズ - DWDM OTDR モジュール

VIAVI DWDM OTDR ソリューションを使用すると、完全なエンドツーエンドのリンク特性評価とトラブルシューティングを、運用中の DWDM およびハイブリッド CWDM/DWDM ネットワークに対して行うことができます。C-RAN およびモバイルフロントホールネットワーク、ケーブルテレビのパッシブ DWDM ネットワークといった次世代 FTTH ネットワークを扱うケーブル、モバイル、固定通信事業者に最適の OTDR です。

アプリケーション

- サービス立ち上げ前に内蔵チューナブルレーザー光源でエンドツーエンドの連続接続性を検証
- 運用中のチャンネル通信を妨害することなく、新しい DWDM 波長ルートをテスト
- インサービスリンクの障害とその正確な位置の特定
- ハイブリッド CWDM/DWDM ネットワークの認証とトラブルシューティング（CWDM OTDR モジュールおよび MTS-4000 V2 とペアリングした場合）

主な特徴

- C バンド（1528nm～1563nm/191.70～196.10THz）内で調整可能な DWDM OTDR
- ITU-T 規格のグリッドに基づく 50GHz/100GHz/200GHz のチャンネル間隔
- アクセスおよびメトロアプリケーション用の 44dB ダイナミックレンジ
- 変調機能を持つ C バンド内蔵チューナブルレーザー光源
- スマートリンクマッパー（SLM）によりスプライス、コネクター、MUX/DEMUX などをアイコン表示して簡単で迅速な問題解析が可能
- MTS-2000、-4000 V2、-5800 プラットフォームに対応

MTS-4000 V2 プラットフォーム用 マルチファイバー MPO スイッチモジュール

MPO スイッチモジュール搭載の VIAVI MTS-4000 V2 OTDR プラットフォームは、MPO ケーブルの適合性検査、認証試験、トラブルシューティングを行うためのオールインワンソリューションです。ファンアウト / ブレークアウトケーブルを使わなくても、1 台の装置だけで MPO リンクを効率的にテストおよび認証できるようになります。

高密度ファイバー環境に適した MPO ケーブルは、個別のシンプレックスパッチコードに比べてコストを抑えることができます。データセンターのインターコネクトに広く使用されている MPO ケーブルは、FTTH、FTTA、C-RAN などテレコムアクセスアプリケーションに浸透しつつあります。MPO スイッチの使用は、OTDR で MPO ケーブルの各芯の特性を素早くかつ正確に評価する最良の方法です。

SLM ソフトウェアアプリケーション（エンタープライズ SLM またはケーブル SLM）では、ナンバーモード（8、12 など）またはラベルモードでテストでき、テストのワークフロー、認証、レポート作成を自動化できます。

FTTH-SLM：

- スプリッターを介しての PON テスト用に特化（ONT から OLT）
- マルチパルスにより FTTH トポロジーを検出し、各セクションをすべて測定

FTTA-SLM：

- 最適な取得パラメータの自動選択
- ファイバーリンクに沿った FTTA ネットワーク装置の検出と特定（ラベル付け）

エンタープライズ SLM：

- データセンター / エンタープライズ TIA-606 規格に基づくラベル付け方式
- プロジェクト / タスク管理機能によるあらゆるテスト結果のレポーティングと管理
- 1 ボタンで光スイッチをコントロールして、MPO ケーブルの全芯をシーケンシャルにテスト
- CERTiFi エンタープライズワークフローソリューションに対応（クラウドおよびモバイルアプリ）

ケーブル SLM：

- プロジェクト / タスク管理機能によるあらゆるテスト結果のレポーティングと管理
- ケーブルテスト全体の進行状況の鳥瞰図により多芯ファイバーケーブルを個別プロジェクトとして管理

アプリケーション

- MPO ファイバー用の包括的な Tier 2 ファイバーの認証試験とトラブルシューティング
- データセンターにおけるシングルモードファイバーの構造化配線
- FTTH/ アクセスネットワーク MPO トランク
- ワイヤレスフロントホール（FTTA/C-RAN）の MPO ファイバーケーブル

主な特徴

- シングルモードの 1x12 芯 MPO スイッチモジュール
- ピン付き APC MPO ポート - テスト対象の MPO リンクとの接続用
- SC/APC ポート - OTDR テストポートとの接続用
- OTDR による自動制御
- エンタープライズ SLM およびケーブル SLM 対応
- MTS-4000 および 4000 V2 プラットフォームに対応

MTS-6000A V2 コンパクトネットワークテストプラットフォーム

MTS-6000A V2 は、ファイバーネットワークの導入からメンテナンスまで、ライフサイクルの全段階に対応した小型軽量のテストプラットフォームです。モジュール式設計の MTS-6000A V2 は、複数ネットワークレイヤー用の広範囲なテスト機能を提供します。

マルチサービスアプリケーションモジュール（MSAM）1つが、イーサネット、SONET/SDH、および上位レイヤーテスト用の統合ソリューションになっています。また 光モジュールによって、短距離と長距離、FTTx、CWDM、高速 40Gbps ネットワーク向けの高度なテストを行うことができます。

アプリケーション

- 短距離マルチモードまたはシングルモードファイバーリンクから超長距離（最長 220km）までの OTDR テスト
- PMD、スペクトル減衰プロファイル、波長分散（CD）テスト
- CWDM と DWDM 光スペクトラム解析（OSA）
- アビオニクス（航空機、宇宙船、衛星、UAV）および船舶（潜水艦、船）向けファイバー認証用の高分解能 OTDR
- ワイヤレスおよびエンタープライズ / データセンター Tier2 ファイバー認証用 OTDR
- FiberComplete による双方向 IL/ORL および OTDR 試験の完全自動化

主な特徴

- 8 インチタッチスクリーンディスプレイ
- オプションの P5000i マイクロスコープによる自動合否判定付きファイバー端面検査
- OTDR、CD/PMD、OSA モジュールは MTS-8000 スケーラブルマルチテストプラットフォームに対応
- Smart Link Mapper（SLM）で簡単にイベント解析
- ビルトイン光パワーメーターと VFL オプション

MTS-8000 スケーラブルマルチテストプラットフォーム

現在および次世代ネットワークのサービス展開にあたっては、業界で最も革新的かつ多用途のテストソリューションであるMTS-8000が最適です。超高速伝送ネットワークテストのニーズをサポートするために設計されたMTS-8000は、長期的な投資を有効にするため最先端技術を組み込んだ最高レベルのテストソリューションです。

MTS-8000 は次世代ネットワークの課題にさらなるファイバー検査とテスト、ROADM、40/100Gbps テスト機能で答えます。

アプリケーション

- 短距離マルチモードまたはシングルモードファイバーリンクから超長距離（最長 220km）までの OTDR テスト
- PMD、スペクトル減衰プロファイル、波長分散（CD）テスト
- ライブトラフィックでのファイバーの PMD テストと、DWDM/ROADM システムのインバンドおよびインサービス OSNR テスト
- CWDM と DWDM 光スペクトラム解析（OSA）
- FiberComplete による双方向 IL/ORL および OTDR 試験の完全自動化

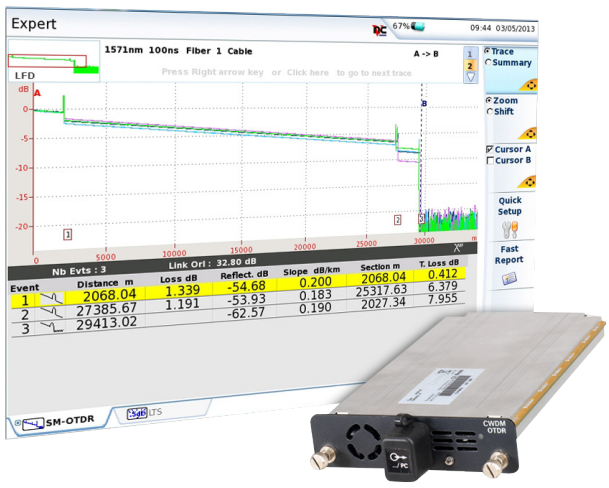
主な特徴

- 視認性に優れた 10.4 インチタッチスクリーンディスプレイ
- 高速 PowerPC プロセッサ、高耐久の SATA ソリッドステートハードディスク、および最新の大容量 LiON バッテリーテクノロジー
- 1 ギガビットイーサネット、ワイヤレス接続（3G、WiFi、Bluetooth）および 4 つの USB インターフェイス
- オプションの P5000i マイクロスコープによる自動合否判定付きファイバー端面検査
- MTS-6000 V2 プラットフォームモジュールに対応
- Smart Link Mapper（SLM）で簡単にイベント解析

MTS-6000 A V2、-8000 プラットフォーム用 8100 シリーズ OTDR モジュール

VIAVI 8100 シリーズ OTDR EVO ファミリーは、シングルモード / マルチモードのあらゆる OTDR アプリケーションおよび短距離から超長距離まで対応する 8100A/8100B/8100C/8100D モジュールで構成されています。

MTS プラットフォームの全テスト機能と 8100 シリーズ OTDR モジュールの光テスト機能を統合することにより、初めてのテストでも正しく行うことができます。



アプリケーション

- アクセス、メトロ、長距離、超長距離ファイバーネットワークの特性評価
- エンタープライズおよびデータセンターネットワークの Tier 2 認証
- FTTH/PON ネットワークの高度な適合性評価とトラブルシューティング。
- コアファイバーネットワークの 40 および 100Gbps へのアップグレード
- インサービスおよびアウトオブサービスでのファイバー監視

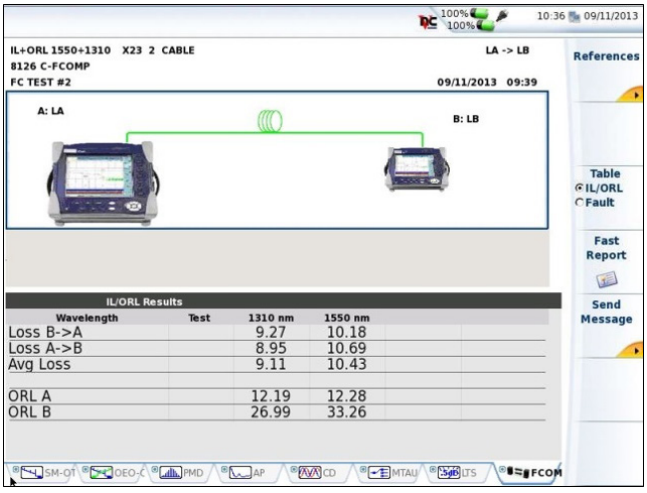
主な特徴

- 最大 50dB のダイナミックレンジと 256,000 点の取得ポイント
- ≤65cm のイベントデッドゾーンと 2.5m の減衰デッドゾーン
- CW 光源と広帯域パワーメーターを OTDR ポートに統合（シングルモード波長）
- 最大 1x128 光スプリッタータイプの PON テスト向けに最適化
- シングルモード / マルチモード統合バージョン

モジュール	8100A	8100B			8100C				8100D	
モジュール	E8146A	E8126B	E8136B	E81165B	E81162C	E8126C	E8136C	E8139C	E8126D	E8136D
波長	850/1300 1310/1550nm	1310/1550nm	1310/1550/ 1625nm	1650nm インサービス	1625nm インサービス	1310/1550nm	1310/1550/1625nm	1310/1490/ 1550nm	1310/ 1550nm	1310/1550/ 1625nm
ダイナミックレンジ	24/24dB 40/40dB	41/40dB	41/40/40dB	40dB	47.5dB	47.5/47dB	47.5/47/ 47.5dB	47.5/46/ 47.5dB	50/50dB	50/50/50dB
ファイバー	マルチモード / シングルモード	シングルモード	シングルモード	シングルモード	シングルモード	シングルモード	シングルモード	シングルモード	シングルモード	シングルモード
パワーメーター		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
光源	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
イベントデッドゾーン	マルチモード: 0.25m シングルモード: 0.60m	0.65m			0.6m				0.5m	
減衰デッドゾーン	2m	2m			2m				2.5m	
スプリッター減衰デッドゾーン	15dB スプリッター後 25m 損失（シングルモードのみ）	15dB スプリッター損失後 25m			15dB スプリッター損失後 25m/18dB スプリッター損失後 60m				15dB スプリッター損失後 15m	

MTS/6000A V2、-8000 プラットフォーム用 8100 シリーズ - FiberComplete Loss、ORL、OTDR 統合モジュール

ファイバーテスト要件のすべてを 1 台で満たすことができます。VIAVI 8100 シリーズ EVO ファミリーモジュールはファイバー特性評価テストに革命をもたらします。この独自モジュールは、FiberComplete テスト機能と広帯域光源を単一ポートに統合しています。光リンクのコミッショニングおよびネットワークアップグレードでの特性評価を行い、効率的なテストと最適なワークフローを実現します。FiberComplete は接続・切断回数を減らし、継続性チェックの自動化やインテリジェントな障害点検出により作業時間を半減させます。作業者へのトレーニングは必要最小限ですみ、プロセスの完全自動化とわかりやすい テスト結果で信頼性の高い測定値が得られます。またテスト結果を 1 つのビューにまとめて、すべての測定値を 1 つのフォルダに保存することでワークフローを最適化します。



アプリケーション

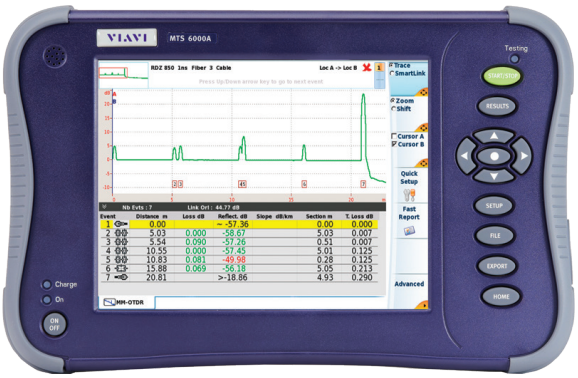
- 光ファイバーリンクの認証、メンテナンス、トラブルシューティング
- アクセス、メトロ、超長距離ネットワークの敷設とコミッショニング
- 4G/LTE バックホール高速アップグレード
- ネットワークビットレートの 10/40/100G へのアップグレード
- Troubleshoot in FaultFinder モードによる迅速な結果の表示

主な特徴

- シングルモード、シングルポートテスト
- ワンコネクション、ワンタッチで自動測定
- 1 台で双方向 OTDR、IL、ORL を自動測定
- リアルタイムの接続チェックと測定器の自動ペアリング
- オンボードレポーティング機能によるテスト結果管理
- リファレンス IL/ORL 取得のためのステップバイステップ式ウィザード

高分解能マルチモード OTDR ソリューション

VIAVI 高分解能マルチモード OTDR ソリューションは、航空機や宇宙船、潜水艦、船舶に導入されている短距離マルチモードファイバーの障害の特性を評価し、発生箇所を検出します。ワイヤレス（DAS、4G、5G、C-RAN）サービス展開およびエンタープライズ / データセンター環境など、他の短距離ファイバー運用環境での使用にも適しています。業界最小、最軽量のポータブル機器であり、ファイバーへのアクセスが困難であったり、制約を受ける場所でのテストを可能にします。



アプリケーション

- 光ファイバーアセンブリの製造
- 商用または軍用航空機、宇宙船または無人航空機（UAV）
- 潜水艦や船舶のファイバーテスト
- エンタープライズとデータセンター環境でのファイバー認証（Tier 2）とトラブルシューティング

主な特徴

- 業界をリードするデッドゾーン性能
- 合理的なユーザーインターフェイスとエラーフリーのセットアップ
- コネクター端面検査と自動合否判定
- FastReport オンボード PDF レポート生成
- Tier2 認証用の TIA/IEC 合否しきい値
- スマートリンクマッパー（RDZ-SLM）による、簡単で迅速な問題解析
- MTS-6000A V2 プラットフォームに対応

分布型光ファイバーセンシング OTDR

分布型光ファイバーセンシングにより、特殊な DTS Raman または DTSS Brillion OTDR テクノロジーを使用してファイバー上の歪みまたは温度を連続的に測定できます。当社では DTSS または DTS OTDR をポータブル型またはラックマウント型で提供しています。

歪み、温度、光損失の分布型光ファイバーセンシング用 DTSS B-OTDR を MTS-8000 プラットフォーム上でポータブル型 DTSS と組み合わせることで、新しい DTSS テクノロジーを組み込んだポータブルかつ強力な測定器をフィールドにもたらします。この製品はまた、恒久的ファイバー監視ソリューションとして ONMSi と組み合わせるために OTU-8000 内のラックマウント光テスト装置としても提供可能です。

DTSS の使用例:

- B-OTDR によるファイバー特性評価により、ファイバーの歪み、伸び、温度が測定されます。
- 海底ケーブルなどの敷設が歪みなく正しく行われていることを確認します。
- ポータブル DTSS を使用して、ケーブルが歪みにより破断またはその寿命が短縮する前に、歪みを検出してなくすことで、ケーブルの歪みを軽減または解消します。

2019 LIGHTWAVE INNOVATION REVIEWS

アプリケーション

- 温度と歪みのしきい値監視
- パイプライン監視
- 製造、敷設、メンテナンス用の通信ケーブル歪みテスト
- 電源ケーブルの監視 - ホットスポットの検出
- 構造健全性監視（SHM）

主な特徴

- 1の OTDR で損失、温度、歪み (DTSS) または温度と損失 (DTS) を測定
- ファイバー 1 本のみでマルチポート測定を行うシングルエンドソリューション
- ポータブル型とラックマウント型
- ポータブル型：コンパクト、モジュール式、軽量 - ジェネレーター不要、後処理ソフトウェア・ファイバーセンシングトレースと連携
- ラックマウント型は VIAVI ファイバー監視ソリューション (ONMSi)と連携
- 低消費電力 - ラックマウント型
- バッテリー駆動 - ポータブル型
- リモート接続

ファイバーセンシングの詳細については、viavisolutions.comをご覧ください。

MTS 8000（DTSS 搭載）、あるいは OTU-8000（DTSS 搭載）または DTSS

DTS の使用例：

- Raman OTDR によるファイバー特性評価では、ファイバー温度測定と共に、光損失関連のすべての標準的 OTDR 測定がなされます。
- 誤って間違ったケーブルを切断してトラフィックを中断することがないように、ケーブルを加熱または冷却することで DTS を用いて正しいケーブルを見つけます。
- 周囲温度が対象の耐熱範囲内であるかを判定するためにファイバーを温度センシングに使用している際に、電気ホットスポットや漏れの可能性やその位置を見出します。

光分散解析

高速ネットワークでは、波長分散（CD）と偏波モード分散（PMD）が伝送上の問題の原因になります。これらは速度を制限する現象であり、10Gbit/秒以上の信号の確実性を脅かし、サービスの品質に影響を及ぼします。VIAVI　光分散測定モジュール（DISPAP）モジュールは、1つのプラグインモジュールで波長分散（CD）、偏波モード分散（PMD）、減衰プロファイル（AP）のテスト機能を提供します。これは、光ファイバーネットワークのフィールドテスト業界で最もコンパクトで統合された分散テストソリューションです。

光分散測定（ODM）モジュール

波長分散
- 位相シフト法に基づくファイバー１本での両端テスト
- 全波長範囲の特性評価
- あらゆる種類のファイバーに対応
- 最大 55dB の高ダイナミックレンジ

偏波モード分散
- 高速フーリエ変換（FFT）を使用する固定アナライザー法に基づく
- 実サービスで実証済み
- 最大 65dB の高ダイナミックレンジ

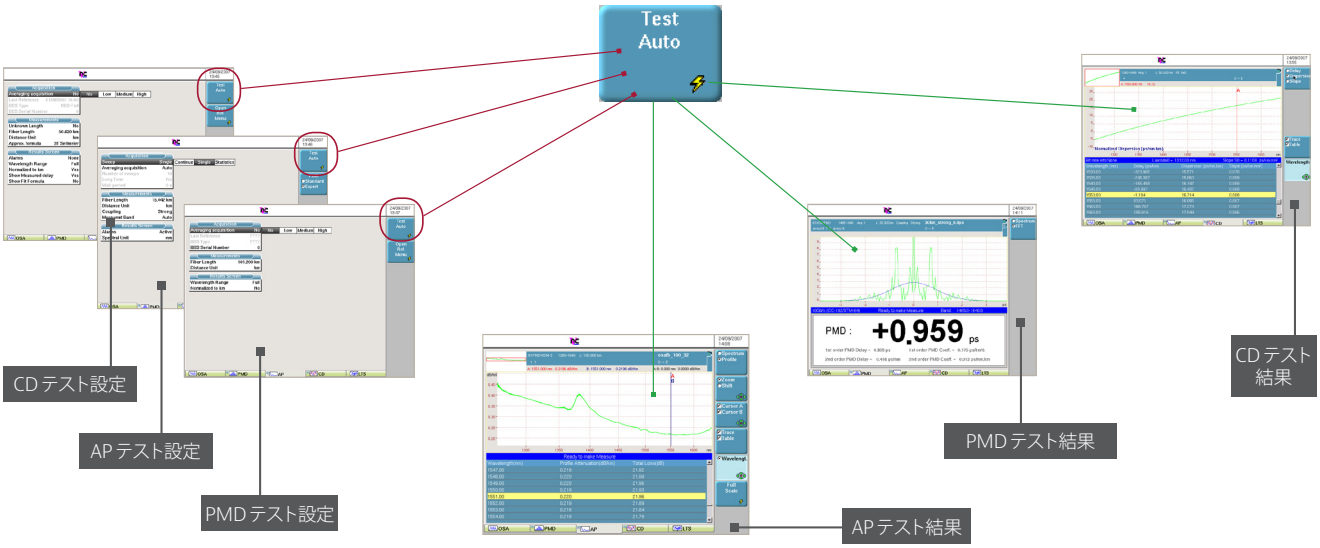
減衰プロファイル
- 全波長範囲の km 当たり損失（dB）：1260～1640nm
- CWDM および DWDM 伝送帯域の特性評価が可能
- ウォーターピーク（1383nm 領域）の特性評価

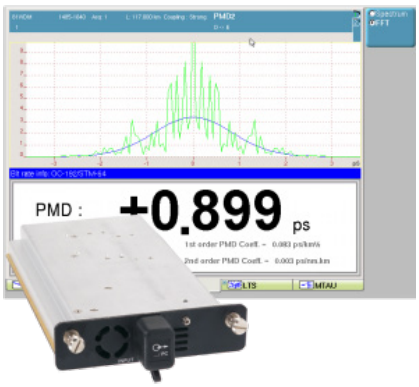
分散テスト用の広帯域光源

VIAVI 光分散モジュールで CD や PMD、および AP を測定するには、遠端に広帯域光源が必要です。アプリケーションに応じて、波長レンジと出力パワーが異なる 3 つの広帯域光源があります。

	OBS-500 ハンドヘルド広帯域光源	高ダイナミック（HD）モード付き OBS-550 ハンドヘルド広帯域光源	BBS2A 広帯域光源モジュール
波長レンジ	1485nm～1640nm	1485nm～1640nm/ 1530nm～1610nm（HD モード）	1260nm～1640nm
出力パワーレベル	>8dBm	>8dBm/>16dBm（HD モード）	>8dBm

簡単な 1 ボタン測定





VIAVI のコンパクトな統合分散テストソリューションは、高効率かつ信頼性の高い方法で光ネットワークの特性ばかりでなく、ファイバーリンクの特性を評価します（ポイントツーポイントまたはネットワーク全体）。

- PMD モジュール（E81PMD）
- CD モジュール（E81CD）
- PMD/CD/AP テスト統合モジュール（E81DISPAP）

光スペクトラム解析

VIAVI のコンパクトな光スペクトラム解析（OSA）製品は、アクセスネットワークの CWDM システムおよびバックボーンの DWDM システム、更には次世代 40/100/200/400G 高速ネットワークでのスペクトル測定用に特化されています。またチャンネル間隔が狭い ROADM システムや 40G ネットワーク用の OSA も備えており、VIAVI 独自仕様のインバンド OSNR 方式に基づく真の OSNR 測定を提供します。

WDM-Expert などのアプリケーションにより、2.5/10/40/100G のデータレートやサービスが混在する環境での複雑な測定にも対応できます。各チャンネルの波長、パワー、ノイズといった従来の情報に加えて、WDM-Expert はチャンネルあたりのデータ転送レートおよび 40/100G またはそれ以上の速度の偏波多重伝送（Pol-Mux）信号の存在を検出します。ネットワークプランを参照しなくても OSNR 結果を即座にデータレートと関連付けし、コヒーレントシステムの Pol-Mux 信号を素早く発見できます。すべてリアルタイムに実行され、OSA スキャンの測定時間に影響することはありません。OSA はさらに簡単に利用できるように調整されており、ユーザー定義テンプレートを使って結果の表示内容をカスタマイズできます。

MTS-2000、-4000 V2、および -5800 V2 プラットフォーム用 COSA-4055 CWDM 光スペクトラムアナライザーモジュール

COSA-4055 は市場最小の CWDM 光スペクトラムアナライザー（OSA）です。MTS-2000、-4000V、-5800 プラットフォーム用の COSA-4055 モジュールは従来の OSA の機能と速度を数分の一の価格で提供します。メトロ / アクセスリンクや CWDM システムを導入、保守、アップグレードする必要のあるサービスプロバイダーに理想的なテストツールで、CWDM チャンネルの波長とパワーレベルを測定し、フルスペクトルを表示します。

アプリケーション

- メトロアクセスネットワークにおける性能検証
- CWDM ネットワークのメンテナンスとトラブルシューティング
- CWDM ネットワークのアップグレード
- CWDM ソースのスペクトルおよびドリフトテスト
- ポイントツーポイントの Mux/Demux テストおよびポイントツーマルチポイントの OADM テスト

主な特徴

- 高速スキャン（4 秒）
- パワーと波長ドリフトテストアプリケーション
- 合否判定
- 波長範囲 1260～1625nm
- ITU-T G. 694.2 CWDM 波長帯及びカスタマイズグリッド
- ITU-T G.695 および G674.2 規格準拠
- 2 台までの SFP CWDM トランシーバー 用追加スロット

MTS-2000、-4000 V2、-5800 V2 プラットフォーム用 DWDM 光チャンネルチェッカーモジュール (OCC-4056C)

OCC-4056C は、市場で最も完全な DWDM 光チャンネルチェッカー (OCC) です。MTS-2000、-4000 V2、-5800 V2 プラットフォーム向け OCC-4056C モジュールは、OSA に類似した機能と速度をハンドヘルド機器で提供し、Fiber Deep、Remote PHY、C-RAN、5G アプリケーション用の波長経路の配備および保守に完璧です。メトロ / アクセスリンクや DWDM システムを導入、保守、アップグレードする必要のあるサービスプロバイダーに理想的なテストツールです。DWDM チャンネルの波長とパワーレベルを測定し、フルスペクトルを表示します。

アプリケーション

- DWDM チャンネル周波数およびパワーレベルの適合性評価
- Fiber Deep & Remote-PHY 用波長ルートの検証
- Mux および Demux 経由フォワード / リターンパスリンクの適合性評価
- DWDM ソースのスペクトルおよびドリフトテスト
- メトロアクセスネットワークにおける性能検証
- DWDM ネットワークのメンテナンスとトラブルシューティング

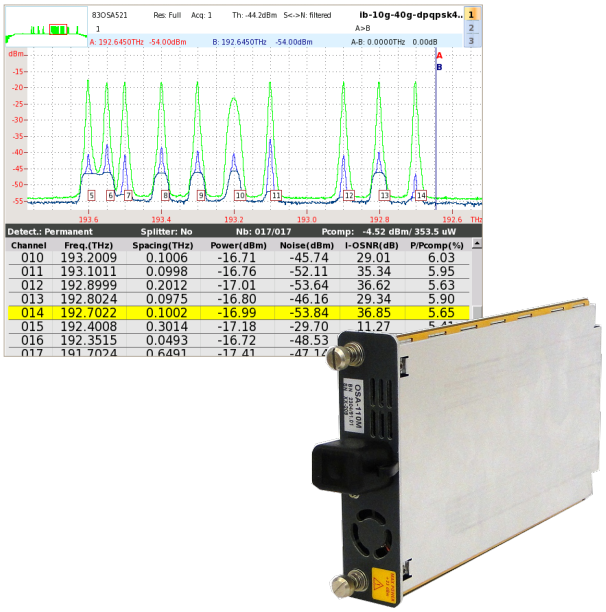
主な特徴

- 50/100 および 200GHz チャンネル間隔の ITU-T G.692 DWDM グリッドをサポート
- C バンドアプリケーション (Ch61～Ch12) をサポート
- 完全スペクトルトレースおよび高速スキャン（4 秒未満）
- 波長およびパワーのドリフト測定
- ズームおよびマーカー機能
- 合否判定
- 固定またはチューナブル SFP 用デュアル SFP スロット

OSA-110M/110H/110R フルバンド光スペクトラムアナライザーモジュール

OSA-110 シリーズは、コンパクト設計の VIAVI 次世代光スペクトラムアナライザー（OSA）モジュールで、サイズと性能面で他に並ぶものはありません。フィールド用途に最適な OSA-110 モジュールは MTS-6000A V2 シリーズプラットフォームに収まり、市場最小のフルバンド OSA ソリューションを提供します。OSA-110 シリーズは、33GHz チャンネル間隔までの低密度波長分割多重（CWDM）および高密度波長分割多重（DWDM）ネットワークのすべてに対応しています。

OSA-110 シリーズは、33GHz チャンネル間隔までの CWDM および DWDM ネットワークのすべてに対応しています。OSA-110R には、よく知られている VIAVI の帯域内測定手法（光偏波分離（OPS）方式 ）が組み込まれており、ROADM ベースのネットワークや、重複するスペクトラムを持つ 40Gbps システム内の真の OSNR を測定することができます。



アプリケーション

- DWDM メトロおよびコアネットワークの敷設と保守
- CATV、アクセス、モバイルバックホールにおける CWDM システムの導入とメンテナンス
- 高速 40/100G インターフェイスの検証
- ROADM ネットワークのプロビジョニングとトラブルシューティング

主な特徴

- フルバンド測定：1250nm～1650nm
- セルフ波長校正機能により ±0.05nm の波長確度を保証
- ハイパワー測定バージョン（最大 +30dBm）、CATV アプリケーション用（OSA-110H）
- インバンド OSNR 測定バージョン（OSA-110R）
- MTS-6000A V2、-8000 プラットフォームに対応

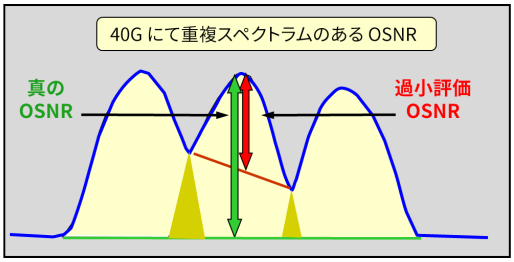
OSA-500M/500R/500RS 高性能フルバンド OSA

VIAVI OSA-500x モジュールは、フルバンドスペクトラムテスト用の高性能ソリューションで す。業界をリードする 0.038nm の光分解能帯域幅により、チャンネル間隔 25GHz までの DWDM ネットワーク向けの高性能テストに最適な光スペクトラムアナライザーです。

全モジュールに 0.010nm を保証する内部波長校正装置が組み込まれおり、比類のない波長確度を持ち、外部で再校正する必要はありません。

OSA-500M は DWDM ネットワークの敷設およびメンテナンス向けの高性能な汎用 OSA です。OSA-501M は独自のチャンネルドロップ機能により、メンテナンスおよびトラブルシューティング中に問題のある単一 DWDM チャンネルをスペクトラムから分離します。OSA-500はDWDMシステムの最大OSNR値テスト用にダイナミックレンジを改善しています。OSA-500R と OSA-500RS はオーバーラップするスペクトラムを持つ ROADM システムと 40G のシステムにおいて、真のインバンドOSNRを測定する新しい技術を搭載しています。OSA-500Rはインバンド OSNR 測定用の標準測定器で、OSA-500RS は全測定を 30 秒未満で完了できる高速バージョンです。

これらモジュールは MTS-8000 プラットフォームでサポートされています。



アプリケーション

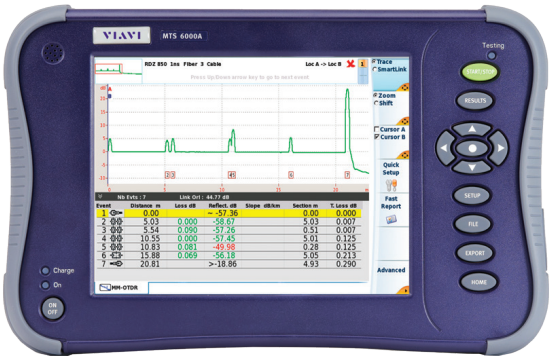
- 光ネットワークでのインバンド OSNR の測定 - ROADM および分散補償モジュールのテストを含む
- ネットワークの敷設、メンテナンス、アップグレード時の DWDM および CWDM システムのテスト
- CATV、アクセス、モバイルバックホールにおける CWDM システムの敷設とメンテナンス
- DWDM のパッシブおよびアクティブコンポーネントの自動テスト
- 光ネットワークでの ROADM の構成検証

主な特徴

- 全 CWDM および DWDM ネットワーク用フルバンド測定レンジ 1250～1650nm
- ROADM ベースのネットワークにおけるインバンド OSNR を測定する新しい光偏波スプリット方式（OPS 方式、VIAVI 特許申請中）
- トラブルシューティングおよび障害位置検出用チャンネルドロップオプション、BERT または Q ファクターメーターによる詳細な信号分析のための単一チャンネルアイソレーション
- 40/100G データテストおよび新しい変調形式に対する将来保証の信号解析
- PMD テスト用のソフトウェアオプション
- 内部波長校正機能は再校正が不要で、0.010nm の波長測定確度を保証

OSA モジュール：MTS-6000A V2、-8000 プラットフォーム用 高分解能 OSA-610

VIAVI OSA-610 高分解能光スペクトルアナライザーは、卓越した分解能帯域幅と、従来の OSA に比べて 5～10 倍も優れた波長確度を備えており、既存のアプリケーションのみならず、400Gスーパーチャンネルなどの高度なシグナル分析にも最適です。信頼性と高性能が不可欠な実験室からフィールドまで役立つコンパクトなソリューションです。MTS-6000A V2、-8000 プラットフォームに対応。



アプリケーション

- 10/40/100/400G コンポーネントおよびシステムの適合性評価
- 100G と 400G のフレックスグリッド DWDM システムの検証と配備
- ナイキスト信号とスーパーチャンネルの適合性評価

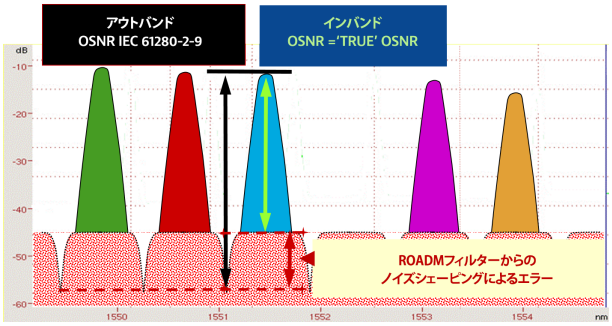
主な特徴

- 400G ナイキスト WDM 信号解析をフルサポートする業界初のフィールド OSA
- 拡張 C バンド取得範囲（1526～1568nm）
- 周波数、パワーレベル、OSNR 測定
- 3pm の波長確度
- サイドモード抑圧比測定
- 業界最小・最軽量の高性能 400G 対応 OSA

OSA モジュール：MTS-8000 プラットフォーム用 インサービス Pol-Mux OSCA-710

OSCA-710　は、光チャンネルをシャットダウンすることなく、偏波多重伝送方式(Pol-Mux)信号の、帯域内 OSNR 測定を、高速 ROADM ベースの DWDM ネットワークで実行できる初のスペクトラムおよび相関関係アナライザーです。このモジュールは新しい独自仕様のスペクトル相関測定手法（VIAVI 特許）と超高分解能のコヒーレントレシーバーを組み合わせることで、振幅や周波数、位相、偏波における全信号の特性評価を行います。

MTS-8000 プラットフォームでサポート



ROADM ネットワークでのアウトオブバンド OSNR とインバンド OSNR

アプリケーション

- ネットワークや個別チャンネルをシャットダウンすることなくインバンド、インサービス OSNR 測定、トラフィックの特性評価を行います
- ROADM 付き / なしでのコアとメトロ DWDM ネットワークの導入、コミッショニング、メンテナンス
- 海底通信リンクのテスト
- コヒーレント検出機能を利用したあらゆる光ファイバーリンクの適合性評価

主な特徴

- 偏波多重信号をはじめとする、あらゆる種類のデータレートおよび変調方式のパワー、波長、インバンド OSNR 測定
- 100、200、400G システムで使用される PMBPSK、PM-QPSK、PM-xQAM 変調フォーマットをサポート
- 高波長分散（CD）および偏波モード分散（PMD）対応
- チャンネルごとのインサービス CD 測定
- ナイキスト およびスーパーチャンネル用超高分解能帯域幅を持つコヒーレントな OSA デザイン

SmartClass（スマートクラス）OCC-55/-56C 光チャンネルチェッカー

OCC-55 CWDM 光チャンネルチェッカーと OCC-56C DWDM 光チャンネルチェッカーは、WDM システムの導入や保守、アップグレードを行うフィールドサービスグループ向けの、光スペクトラムアナライザー（OSA）に替わるコンパクトで低コストのテストソリューションです。これらの選択式パワーメーターは ITU-T 波長グリットに従って全 WDM チャン ネルをスキャンし、波長/周波数および関連するパワーレベルを自動的に記録します。

アプリケーション

- CWDM および DWDM システムの敷設、保守、アップグレード
- 多重信号の MUX/DEMUX 評価前のシングルチャネル解析
- 光分岐挿入装置（OADM）でのインサービス測定と、ネットワークエレメント検証チャンネルドロップテスト

主な特徴

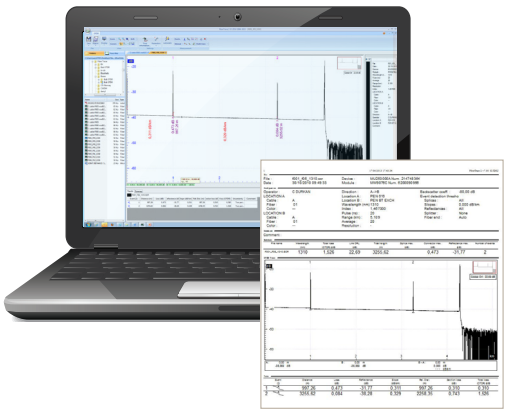
- ITU-T G.694.2 CWDM チャンネル測定（最大 18 チャンネル）（OCC-55）
- ITU-T 50/100/200 GHz DWDM チャンネル（OCC-56C）
- チャンネルドリフトモニタリング
- 棒グラフと表による結果表示モード
- 軽量、コンパクト：0.5kg/1.1 ポンド
- OFS-355 Smart Optical Reporting ソフトウェアによるレポートの作成

解析後のオフライン PC ソフトウェア

オフライン PC ソフトウェアによって、光ファイバーテストデータを迅速かつ効率的に表示、編集、分析、レポート作成を行うことができます。

オーダー情報

説明	パーツ番号
FiberTrace 2 ソフトウェア FiberTrace 2 を利用すると、MTS プラットフォームを使ってフィールドで取得した光テストデータを、本格的なフォーマットで表示、編集、分析および印刷することができます。	EOFS-100
FiberCable 2 ソフトウェア また、FiberCable 2 は、複数のファイバーケーブルの OTDR 認証レポートの作成を提供します。ファイバー特性評価は様々なテスト結果を統合し一つのドキュメントにレポートします。	EOFS-200



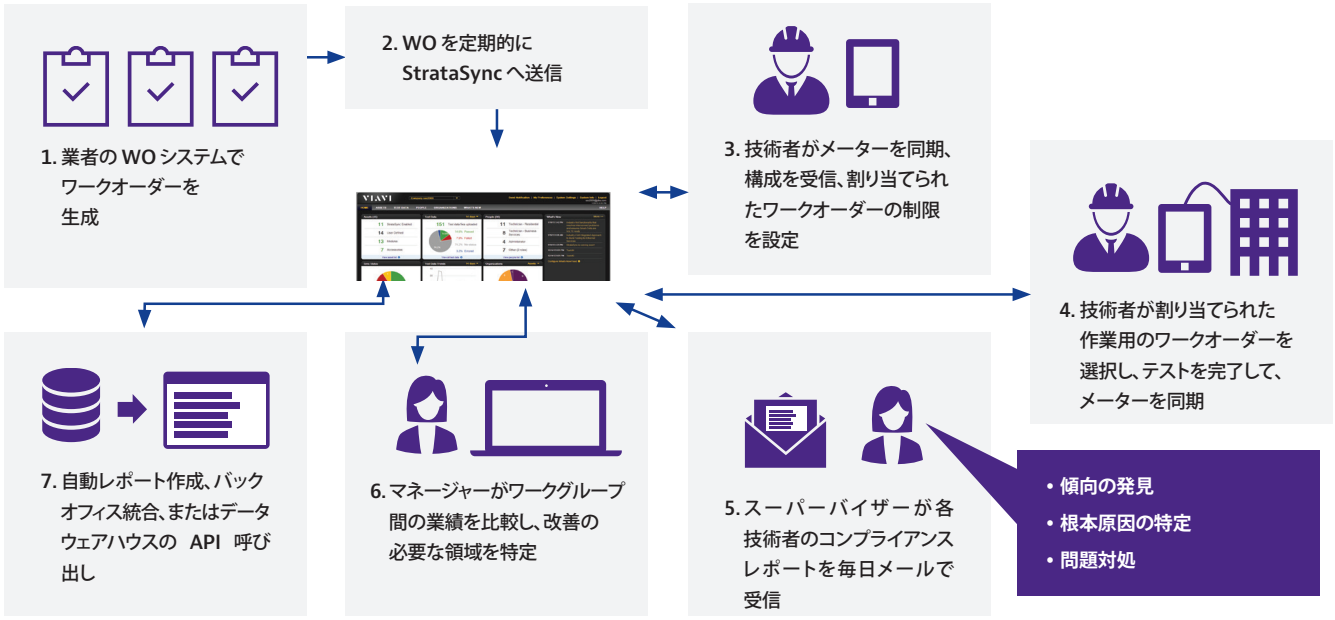
光データの後処理用ソフトウェアには 2 つのバージョンがあります。

- FiberTrace 2 を利用すると、VIAVI MTS プラットフォームを使ってフィールドで取得した光テストデータを、本格的なフォーマットで表示、編集、分析および印刷することができます。このソフトウェアは小規模のファイバー業務に適しています。
- FiberCable 2 では、ファイバー芯数の多いケーブルの OTDR 合否レポートを作成することもできます。ファイバー特性評価レポートでは、1 つのドキュメントに様々なテスト結果が統合されます。このソフトウェアは大量のファイバー解析および特性評価に適しています。

資産、データ、およびワークフローの管理

StrataSync

RFoG、EPON、GPON、HFC、DOCSIS　　イーサネット、ビジネスサービス、CWDM、DWDM



主な特徴

- クラウド対応アーキテクチャにより、どこからでもセキュアで容易なネットワークアクセスを提供
- 完全な資産管理と非 VIAVI 機器の追跡
- 自動化により測定器ファームウェア、オプション、構成ファイルの更新を簡素化
- StrataSync コア機能の無料提供

アプリケーション

- 請求書送信用に即時データ転送
- フィールド測定器ソフトウェア、設定、テストデータの一元管理
- ソフトウェアライセンスとオプションの管理
- 計測器の自動管理 (技術者ポータル)
- 技術者パフォーマンスの追跡

CERTiFi

VIAVI Stratasync™ プラットフォーム上で動作する CERTiFi は、迅速かつ正確に試験を完了するために必要な情報をチームの全員に共有します。

CERTiFi により、チームのメンバーは、設計要件の策定および作業の割り当てからリアルタイムでのテストの実施とプロジェクト指標の分析まで、プロジェクトの各ステージでしっかりと連携することができます。CERTiFi により、プロジェクトを確実に管理し、チームを成功に導くことができます。

CERTiFi powered by StrataSync™

SmartClass Fiber OLTS-85/-85P、MPOLx、MTS 2000 および 4000 OTDR、Certifier 10/40G に対応

アプリケーション

- ウェブベースのインターフェイスを利用した複数プロジェクトの設計管理
- コンサルタント、フィールドエンジニア、請負業者、その他チームメンバーへのプロジェクトの割り当て
- 測定器へのタスクやテスト設定（ラベルリスト、合否判定基準、メモなど）の事前読み込み
- 現場責任者のモバイル機器へのリアルタイムのテスト結果とプロジェクトの進捗状況の提供

主な特徴

- プロジェクトのあらゆるプロセスを確実に管理
- チームの連携とプロジェクト仕様の一元化
- 業務要件をリアルタイムに確実に伝達
- どこからでもプロジェクトの進捗状況を追跡、結果を解析
- チームメンバーに作業を直接割り当て
- CERTiFi モバイルアプリケーションで計測器にコンフィグを直接ロード

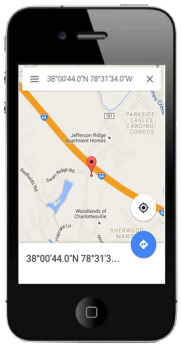
光ネットワーク管理

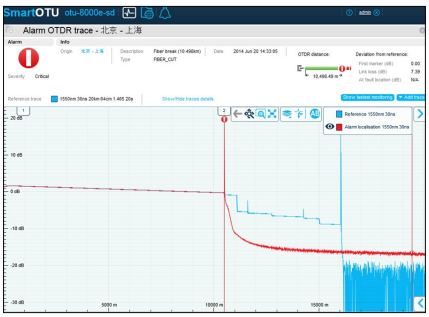
SmartOTU™

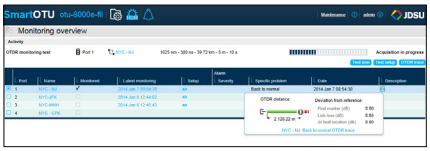
プラグ＆プレイ方式のファイバー監視ソリューション

SmartOTU ソフトウェアは、OTDR モジュールの選択次第で全方向 150km 超長のファイバー監視が可能です。SmartOTU は、ダークファイバーとインサービスファイバーの両方の監視をサポートし、あらゆる光ネットワークに対して、ネットワークセキュリティを保護し、ファイバータッピングなどのイベントを数 10 分の 1dB の精度で突き止めることに適しています。SmartOTU は、スタンドアローンのリモートファイバーテストソリューションで、トレーニングや複雑な設定なしにすぐに使用することができます。SmartOTU には追加のサーバーやソフトウェアは必要ありません。簡単なウェブブラウザがあれば、マッピングをはじめとするあらゆる機能を利用できます。SmartOTU は、Google や Bing、レガシー GIS など、広く利用されているクラウドベースのマップ上に障害地点の正確な GPS 位置を表示します。SmartOTU は、VIAVI の光ネットワーク監視システム（ONMSi）に対応しており、ネットワーク拡張に伴い包括的なファイバー監視ソリューションにアップグレードできます。SmartOTU は、モジュール式 OTU-8000 ハードウェア、またはインサービス監視用に最適化された超コンパクト型 OTU-5000 により使用可能です。

モジュール式 OTU-8000 では、幾つかの OTDR モジュールを設置するか、業界初の チューナブル DWDM OTDR（44 波長）を使用することで波長を変更できます。ネットワーク上で小型のプローブを取り付けられる場所ならどこでも OTDR で短 / 中 / 長距離のファイバーを監視することができます。チューナブル DWDM モジュールではまた、ネットワーク事業者向けのアド / ドロップ MUX テストを超えて、リモート PHY 装置による分布型アクセスアーキテクチャを使用して、特定波長でのネットワークへ掘り下げたテストが可能です。







アプリケーション

- 光ファイバーの監視
- 「RIP」（パブリックイニシアティブネットワーク）の監視
- プロアクティブメンテナンス - タップ検出でファイバーセキュリティに貢献
- SLA 保証のためのデータセンター監視に最適

主な特徴

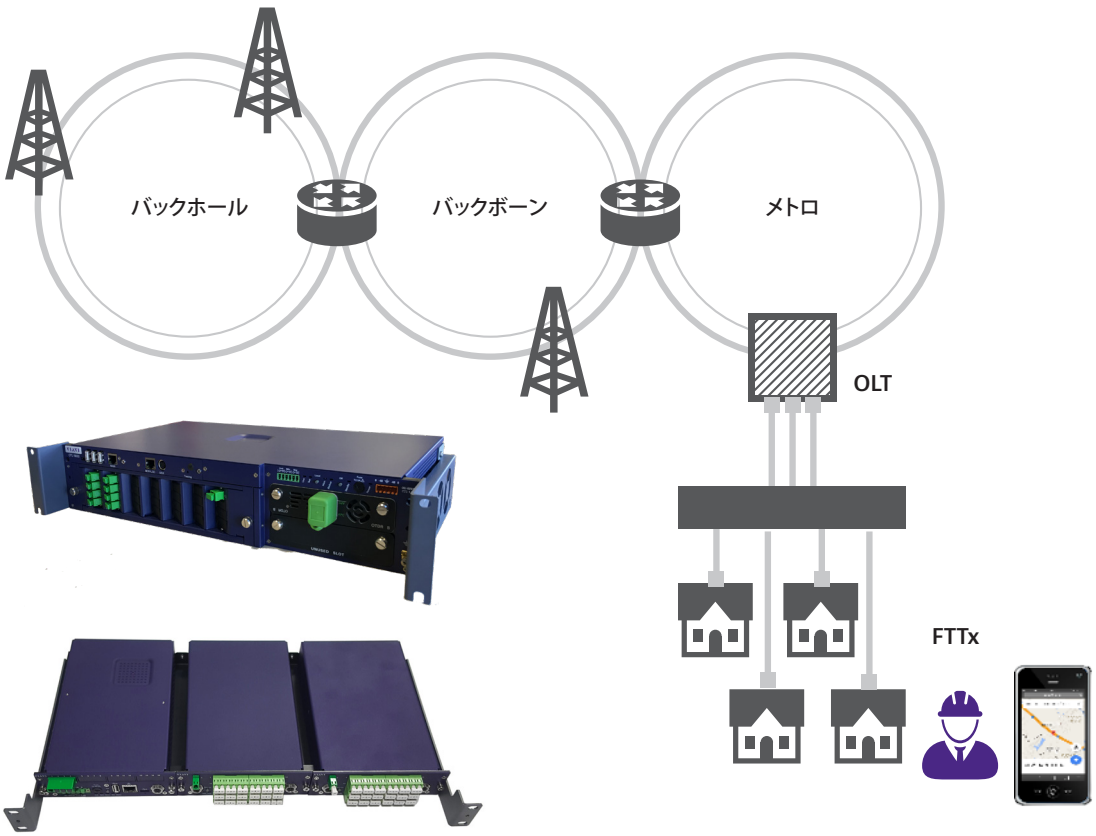
- ウェブブラウザを利用した使いやすいインターフェイス
- メールと SMS による通知、SNMP インターフェイス、HTTPS によるセキュアな通信
- OTDR 測定結果のリアルタイム表示
- 箱から取り出してすぐに使用可能 - サーバーやローカル PC 不要
- クラウドベースのアプリまたはレガシー GIS 上で障害位置特定
- VIAVI 光ネットワーク監視システム（ONMSi）に対応

光ネットワーク管理システム (ONMSi)

PON と Point to Point ネットワークの両方に対するスケーラブルなファイバーネットワークの可視性

トリプル / クアッドプレイサービスや光スプリッターを伴ったパッシブ光ネットワーク (PON) などにより、ファイバーの監視が一層大きな課題になっています。VIAVI ONMSi は、ファイバーネットワーク可視性を PON のコアから宅内にまで拡張する光ネットワーク監視システムであり、光ネットワークで運用サポートとサービス品質 (QoS) を改善できます。ONMSi は、遠隔ファイバーテストシステムで、24時間365日ファイバーネットワークをスキャンし、エンジニアをフィールドに派遣する必要なく、自動的に障害を検出し位置を特定します。VIAVI は、業界最高性能の OTDR テクノロジーを提供しており、高確度 / 高分解能のトレースで障害や劣化位置を検出できます。OTU (Optical Test Unit) プローブを対象ファイバーに取り付けるだけで試験が可能です。OTU は、OTDR と光スイッチを統合して、リファレンスデータと現在のデータとを常時比較します。ファイバー劣化が発生した場合は、アラームを送信し、チームがプロアクティブに保守し、障害から保護できるようにします。

VIAVI は、2 種類の OTU を揃えており、必要な OTDR モジュールとネットワーク拡張性および価格を考慮した選択を行うことができます。同一監視システム内で OTU-8000 と OTU-5000 を組み合わせて、ネットワークのフルカバレッジを達成できます。このシステムは、PON 構築やサービスプロビジョニング、常時監視、インフラ監視、およびネットワーク セキュリティアプリケーションに利用できます。



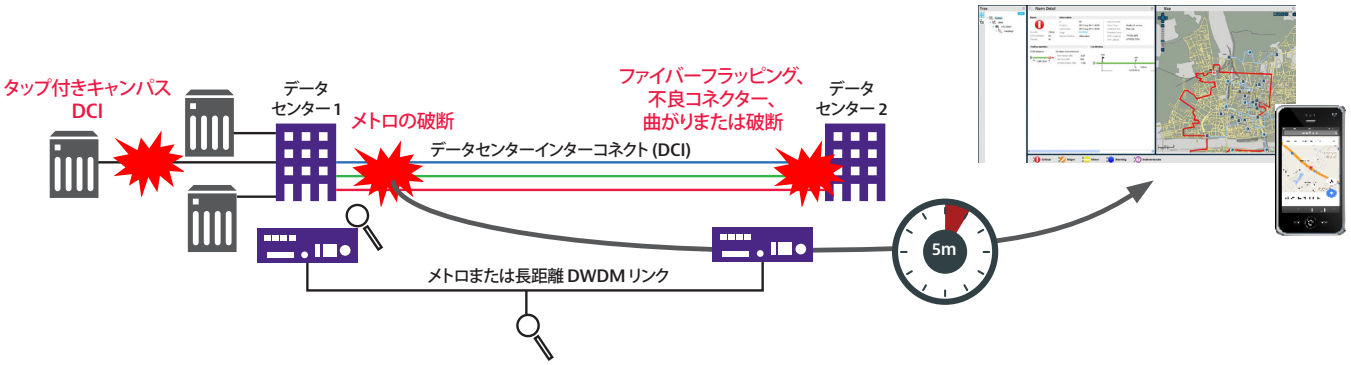
ONMSi は、包括的なファイバー監視ソリューションであり、メトロ、コア、アクセス、および PON ネットワークをサポートしています。

データセンター インターコネクト アップタイムの改善

VIAVI データセンター インターコネクト脆弱性監視

DCI 監視は、ほぼリアルタイムでのイベントやネットワーク脆弱性の検出、場所特定、解決に必要な可視性を提供します。

- ネットワーク性能のプロアクティブな追跡
- 故障場所を特定して MTTR を低減
- アップタイム /SLA の確保
- セキュリティの強化
- 労賃関連の運営費を低減



VIAVI Solutions

〒163–1107
東京都新宿区西新宿6–22–1
新宿スクエアタワー7F

電話：03–5339–6886
FAX: 03–5339–6889
Email: support.japan@viavisolutions.com

これらの製品についての詳細は、この QR コードをスキャンするか、VIAVI 代理店にお問い合わせください。

© 2019 VIAVI Solutions Inc.
この文書に記載されている製品仕様および内容は予告なく変更されることがあります。

viavisolutions.jp

ffiber-test-tools-generic-ct-nse-ja
30186456 902 0819